

2020

感恩奉仕

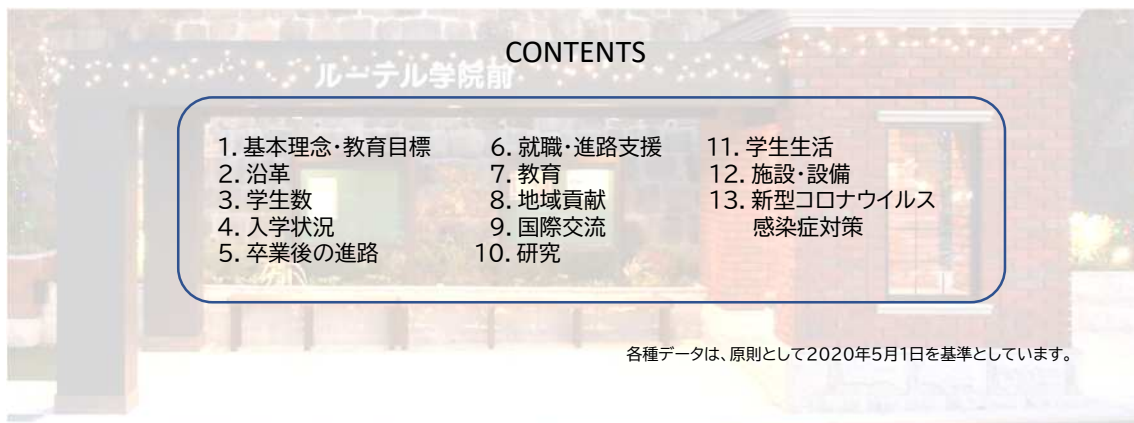
Gratitude and Service

ファクトブック

データでみる 九州ルーテル学院大学



九州ルーテル学院大学
KYUSHU LUTHERAN COLLEGE



CONTENTS

- | | | |
|--------------|------------|------------------------|
| 1. 基本理念・教育目標 | 6. 就職・進路支援 | 11. 学生生活 |
| 2. 沿革 | 7. 教育 | 12. 施設・設備 |
| 3. 学生数 | 8. 地域貢献 | 13. 新型コロナウイルス
感染症対策 |
| 4. 入学状況 | 9. 国際交流 | |
| 5. 卒業後の進路 | 10. 研究 | |

各種データは、原則として2020年5月1日を基準としています。

1. 基本理念・教育目標



一校章の意味

キリスト教精神「感恩奉仕」を基礎に全人格を磨く

学問の府を意味するペンをかたどった校章の中心には、ルター(ルーテル)紋章に刻まれている十字架の心を単純化した“赤い丸”が配されています。この一点こそが、学院の原点「霊育」でもあります。大学を巣立つ皆さんが「神様の恩恵に感謝し、神と人に仕え(奉仕する)=感恩奉仕」に生きることで、九州ルーテル学院の理念であり、使命であると考えています。

基本理念

- ①建学の精神“感恩奉仕”に則ったキリスト教主義の人格教育
- ②幅広い教養教育と専門領域における高度な教育研究
- ③福祉と社会・文化の向上に資する人材の育成

教育目標

グローバルな視野とボランティア精神を培い、専門に関する基礎を身につけ、バランスの取れた判断のできる、人間性が豊かで対人的配慮を有した人材の育成を図ります。

- ①志を高く持ち、継続的に努力をする人
- ②確かな倫理観を持ち、社会・文化の向上に貢献する強い意志を有する人
- ③本学の理念と特色を理解し、学ぶ意欲の強い人

研究に関する基本方針

- ①研究の組織的取組強化による価値の創造と地域貢献
- ②大学間連携等の共同研究の強化による社会との連携

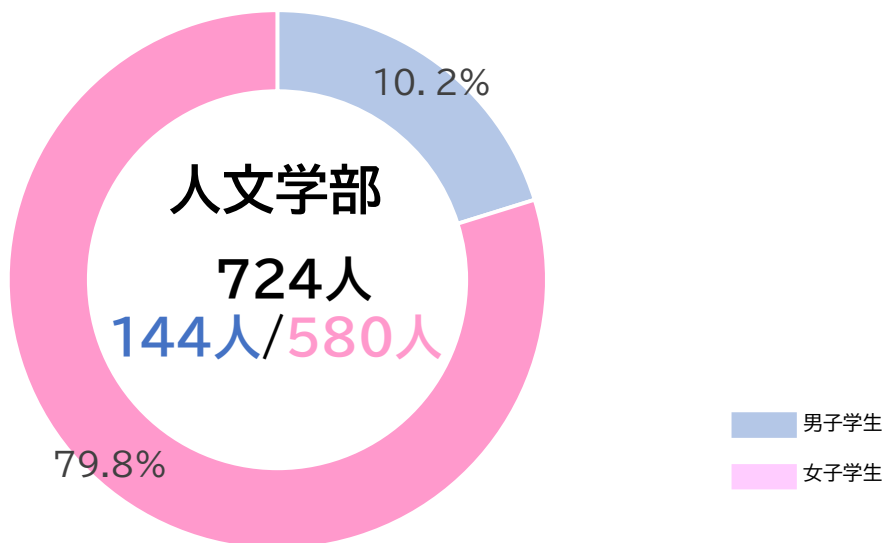
地域連携・社会貢献に関する基本方針

- ①教育研究の成果として、蓄積する知的及び人的な資源を積極的に社会へ還元
- ②地域社会、公共団体・教育機関・産業界、国際社会等、多様な場での交流の促進
- ③地域の知の拠点として、公開講座、オープンカレッジ等、多彩な社会人教育プログラムによる生涯学習の推進に寄与
- ④グローバルな視野やマインドを身に付け、国際社会で活躍できる人材の輩出

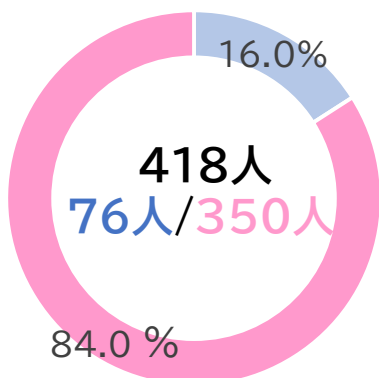
2. 沿革

年代		沿革
1908	明治41	米国ペンシルバニア州のインマヌエル・ルーテル教会で「日本に女学校をつくるために」5ドルが献金された。
1926	大正15	1926(大正15)年 キリスト教主義の女学校として九州女学院(5年制)(初代院長マーサ・B・エカード)開校 その後、九州女学院中学校(1947年)、九州女学院高等学校(1948年)、九州女学院幼稚園(1948年)を設置
		 開校当時の校舎(現高等学校本館)
1975	昭和50	九州女学院短期大学 開学
		 短大学舎(現大学1号館)
1997	平成9	九州ルーテル学院大学 開学 人文学部人文学科(入学定員150人・男女共学)
		 初めての大学入試
1998	平成10	九州女学院短期大学 閉校(廃止)
		 最後の卒業式
2004	平成16	人文学部 人文学科(入学定員75人)及び 人文学部 心理臨床学科(入学定員75人) 設置
2006	平成18	九州ルーテル学院大学大学院 開学 人文学研究科障害心理学専攻(修士課程)(入学定員5人)
2007	平成19	人文学部人文学科 キャリア・イングリッシュ専攻(入学定員35人)及びこども専攻(入学定員40人)設置
2011	平成23	人文学部人文学科 こども専攻を保育コース(定員30人)と児童教育コース(定員10人)に改編
2014	平成26	こころとそだちの臨床研究所 開設
2015	平成28	九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園 開園
2016	平成29	人文学部人文学科こども専攻(入学定員50人:保育コース定員30人 児童教育コース定員20人)及び 心理臨床学科(入学定員65人)に変更

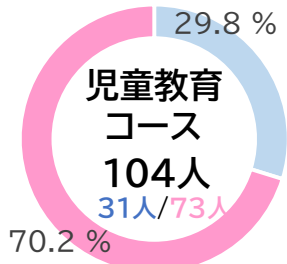
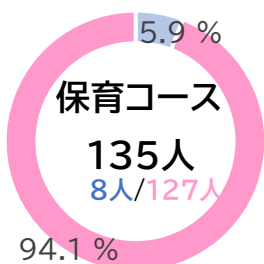
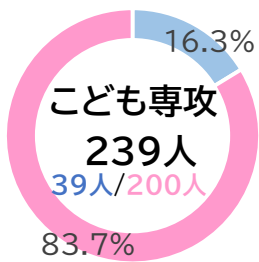
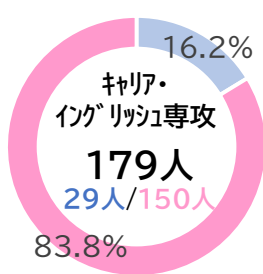
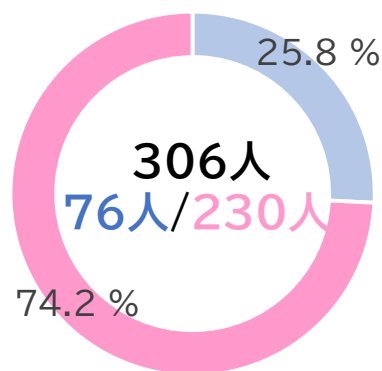
3. 学生数



人文学科



心理臨床学科



人文学研究科 10人

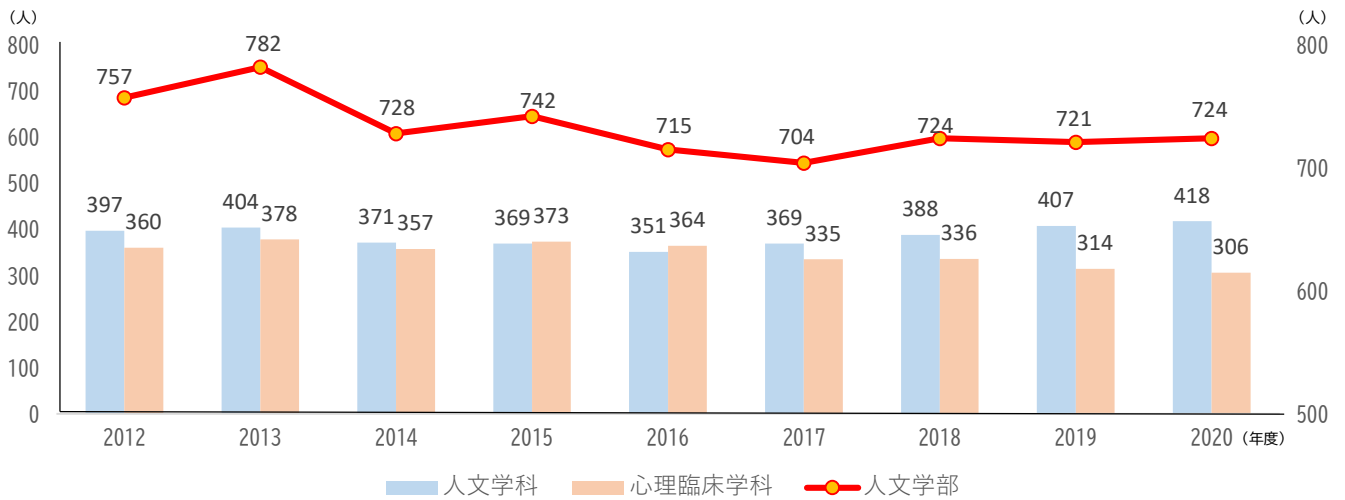


総数：734人

人文学科 418人
心理臨床学科 306人
人文学研究科 10人

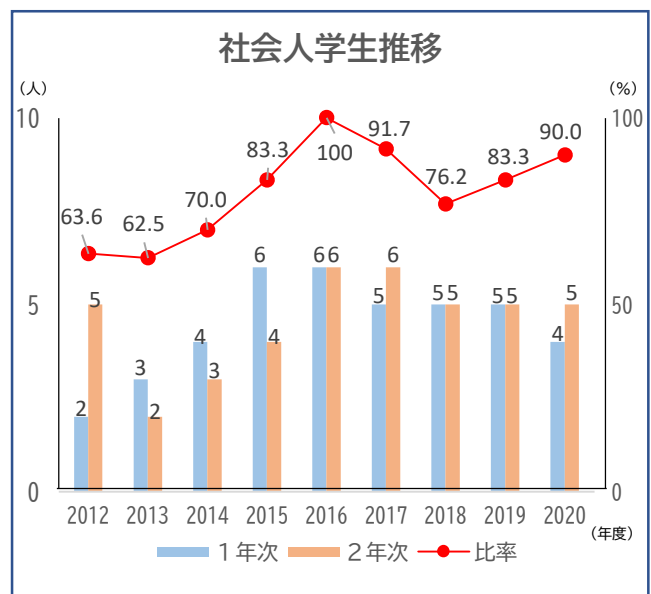
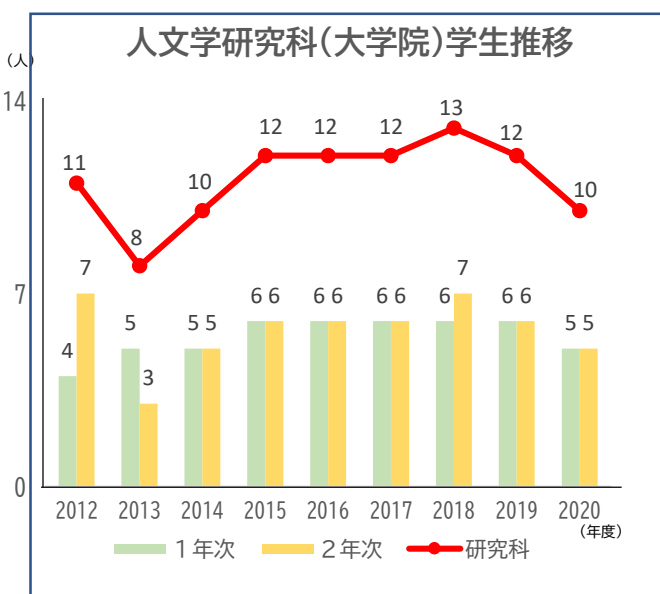
3. 学生数

学部・学科別推移表



学部生数推移

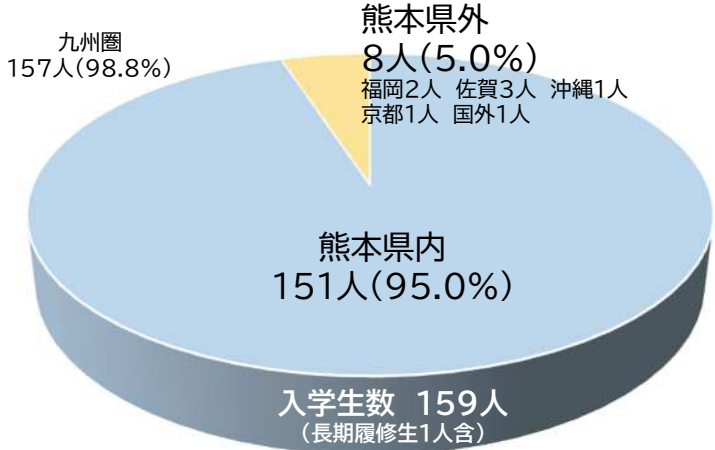
(年度)	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
人文学科	397	404	371	369	351	369	388	407	418
キャリア・イングリッシュ専攻	191	186	166	172	163	169	169	173	179
こども専攻	206	218	205	197	188	200	219	234	239
保育コース	161	152	128	127	125	125	131	132	135
児童教育コース	45	66	77	70	63	75	88	102	104
心理臨床学科	360	378	357	373	364	335	336	314	306
合計	757	782	728	742	715	704	724	721	724



4. 入学状況



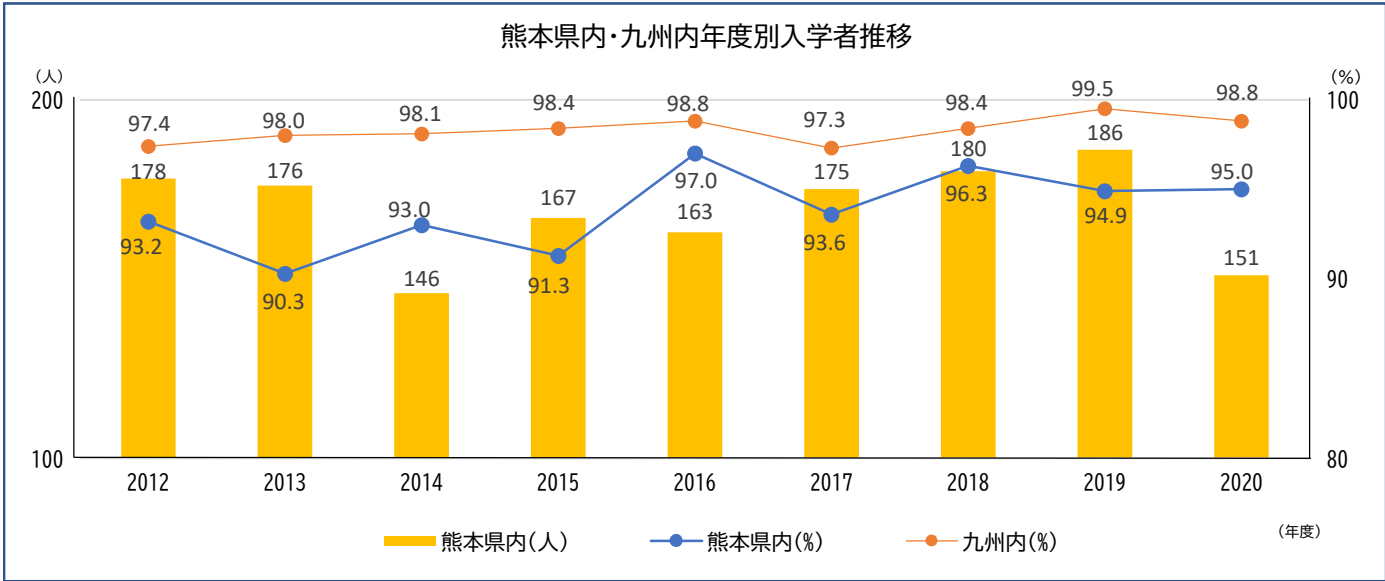
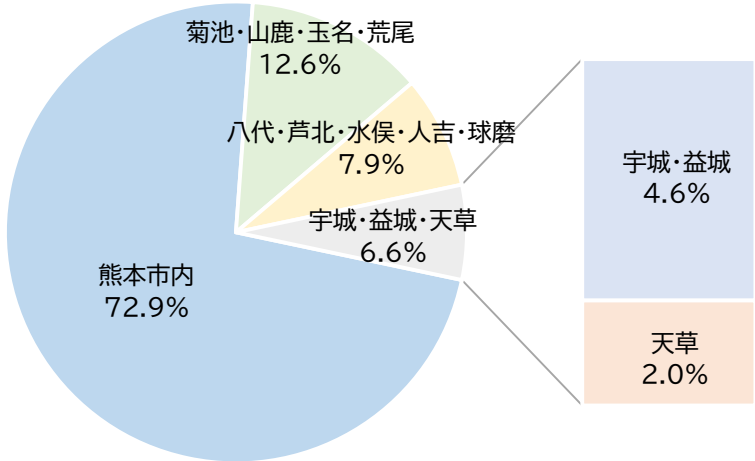
入学式



2020年度 入学者内訳

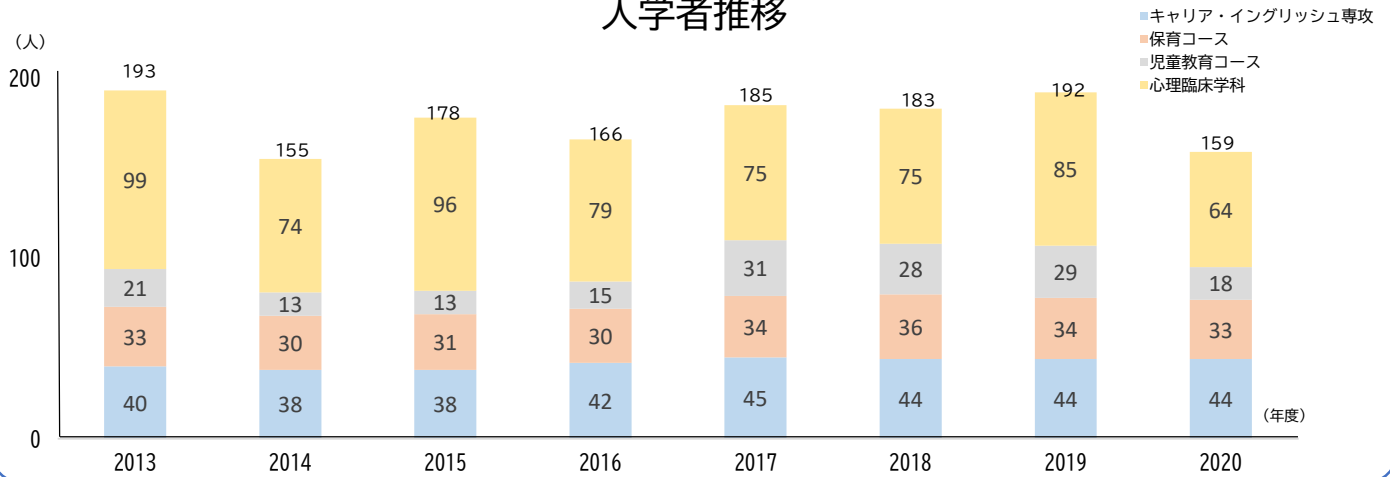
熊本県内地域別入学者

地域	(人)
熊本市内 (長期履修生1名含)	110
菊池・山鹿 玉名・荒尾	19
八代・芦北・水俣 人吉・球磨	12
宇城・益城	7
阿蘇	0
天草	3
合計	151

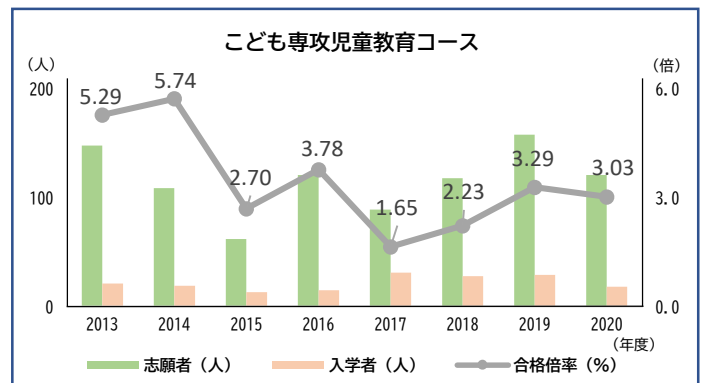
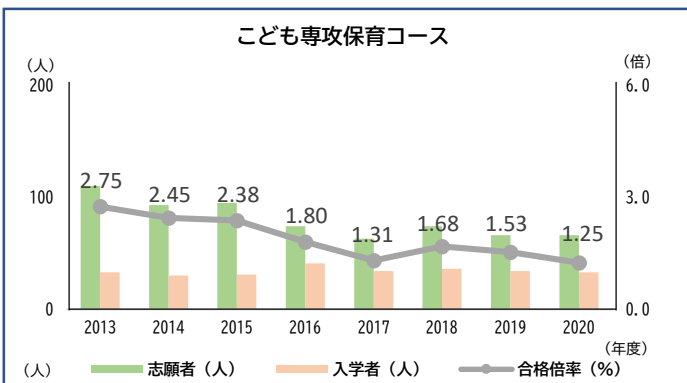
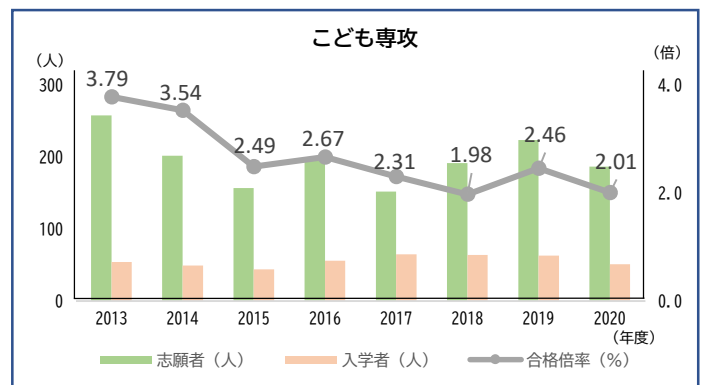
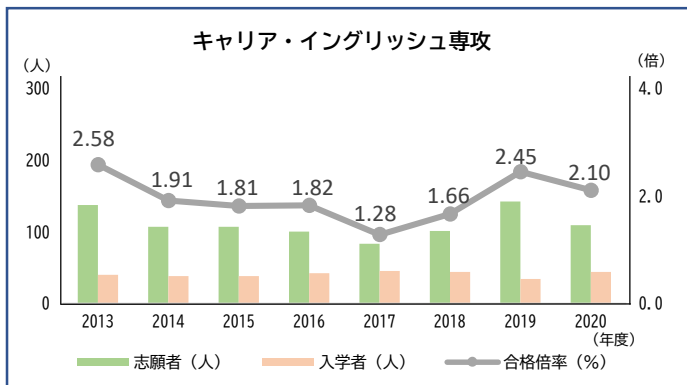
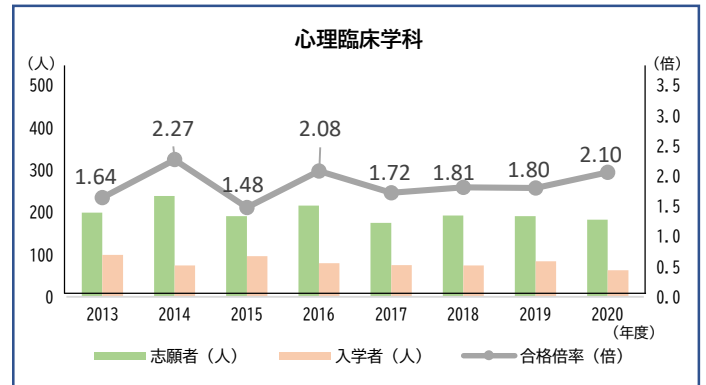
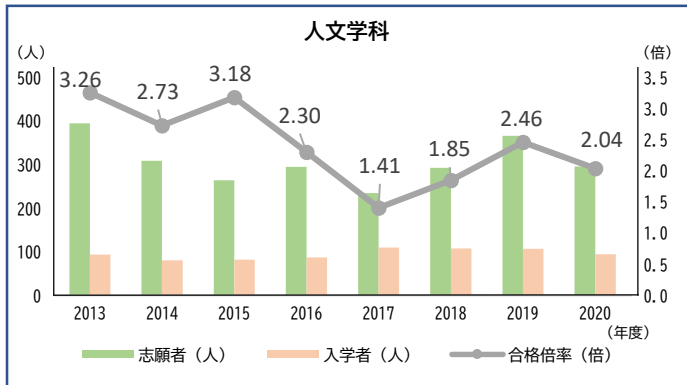


4. 入学状況

入学者推移



学科・専攻・コース毎の出願者・入学者・合格倍率の推移



4. 入学状況

○都道府県別の入学者推移(年度別)

(人)

	都道府県名	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1	北海道	0	0	0	0	1	0	0	0	0
2	青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	宮城県	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5	秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	茨城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	千葉県	0	1	0	0	0	0	0	0	0
13	東京都	0	0	1	0	0	0	0	0	0
14	神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	新潟県	0	1	0	0	0	0	0	0	0
16	富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	京都府	0	0	0	0	0	0	0	0	1
27	大阪府	1	0	0	0	0	0	0	0	0
28	兵庫県	0	0	0	0	0	1	0	0	0
29	奈良県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4. 入学状況

○都道府県別の入学者推移(年度別)

(人)

	都道府県名	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
31	鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32	島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	広島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	山口県	0	0	1	1	0	0	0	0	0
36	徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	高知県	1	0	0	0	0	0	1	0	0
40	福岡県	0	2	1	1	1	2	0	2	2
41	佐賀県	0	0	0	3	0	0	0	0	3
42	長崎県	0	1	2	2	0	1	0	1	0
43	熊本県	178	176	146	167	163	175	180	186	151
44	大分県	0	1	1	0	1	1	1	0	0
45	宮崎県	1	4	1	2	1	2	1	3	0
46	鹿児島県	7	7	3	3	0	1	2	3	0
47	沖縄県	0	0	0	2	0	0	0	0	1
48	国外・その他	3	2	0	2	0	4	2	1	1
	合計	191	195	157	183	167	187	187	196	159

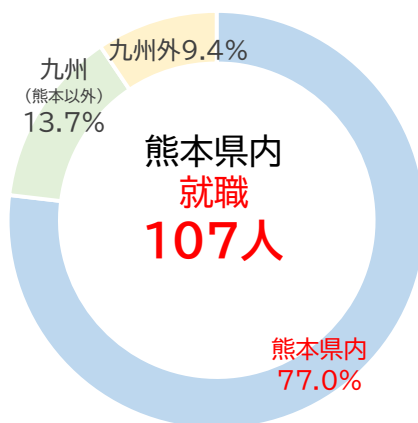
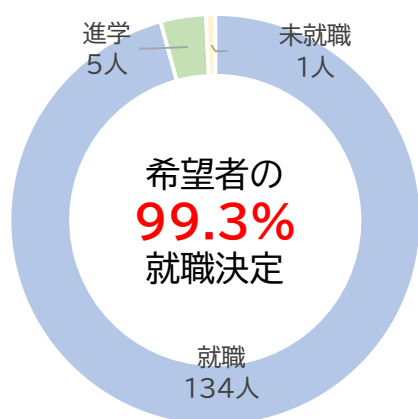
○学科・専攻・コース別 出願者・入学者 内訳

(人)

2020(令和2)年度 志願者・入学者内訳

	区 分	定員	志願者	入学者	
人 文 学 科	キャリア・イングリッシュ専攻	35	109	44	
	こども専攻	保育コース	50	187	33
		児童教育コース			18
	心理臨床学科 (長期履修生1人含む。)	65	182	64	
	合 計	150	478	159	

5. 卒業後の進路



有名企業 400社
実就職ランキング
(2020年10月29日現在)

九州:11位

九州私立大学

5位

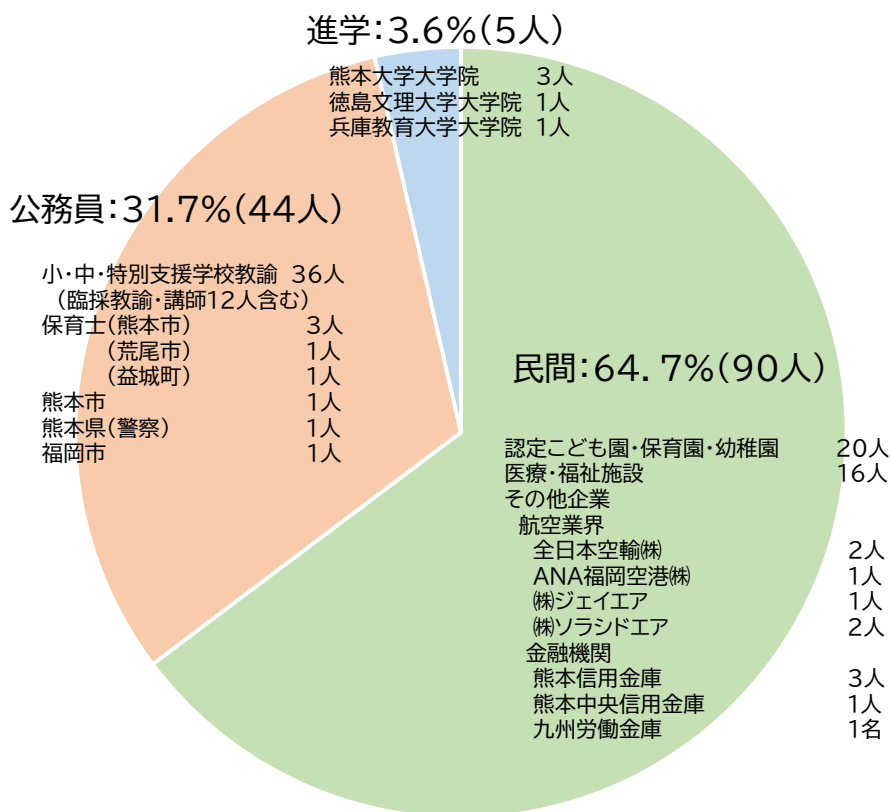
(全国134位)

(ユニヴ・プレスVol.24・大学通信)

2019年度卒業生就職希望者:135人 就職:134人

(進学者5人、斡旋不要者10人を除く)

(斡旋不要者内訳:受験準備 5人 就職活動中 3人 就職しない 2人)

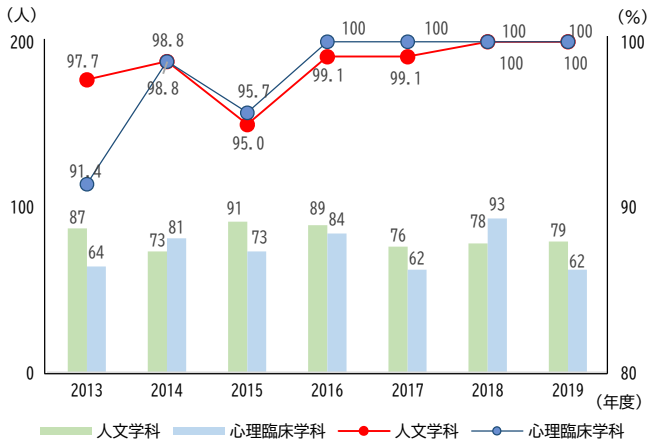


就職先:民間企業(同不順)

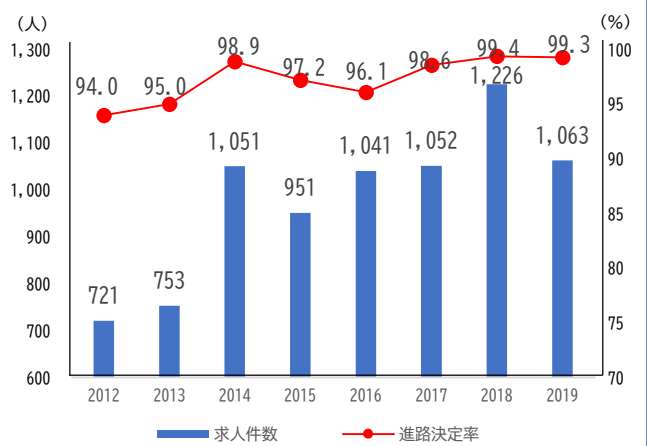
- ・(株)シアーズホーム・(有)北斗建装・(株)シーボン・(株)アダストリア・(株)豊田自動織機・(株)再春館製作所・(株)コーセー・セキミキ・グループ(株)
- ・資生堂ジャパン(株)・(株)マリークワントコスメテックス・日本郵便(株)・全日本空輸(株)・ANA福岡空港(株)・(株)ジェイエア・(株)ソラシドエア・(株)共同
- ・熊本バス(株)・(株)ネクステージ・アデルカーズ(株)・(株)九州ケースデンキ・(株)えがお・アイティーアイ(株)・(株)ヨネザワ・(株)ロッキー・(株)エディオ
- ・JR九州リテール(株)・(株)ジョイフル・九州労働金庫・熊本信用金庫・熊本中央信用金庫・住友生命保険(相)・あいおいニッセイ同和損害保険(株)
- ・(株)リブワーク・(株)ハイコム・大和リビングマネージメント(株)・(株)トヨタレンタリース熊本・第二さくら体育幼稚園・城北幼稚園・認定こども園やまなみ
- ・立田幼稚園・九州学院みどり幼稚園・認定こども園ルーテル学院幼稚園・なぎさこども園・やまばとこども園・清水ヶ丘こども園・白梅幼稚園
- ・めぐみ幼稚園・たからこども園・さんさん保育園・千草保育園・つるまる保育園・ひかりの子保育園・愛保育園・はなぞの保育園・ひむき保育園
- ・宮崎市総合発達支援センター・(株)早稲田スクール・(株)介護の木下・希望ヶ丘病院・あおば病院・桜ヶ丘病院・くまもと心療病院
- ・ニキハーティホスピタル・小柳病院・(株)五つ星工房放課後等ディサービス・熊本県こころの医療センター・くまもと清明病院・げんきキッズグループ
- ・明生病院・福井歯科病院・聖アンナレディースクリニック・熊本県あかねの里・(株)ティーケービー・(株)麻生キャリアサポート・(株)ワークポート福岡
- ・(株)エイジェック・(株)アウトソーシングテクノロジー

5. 卒業後の進路

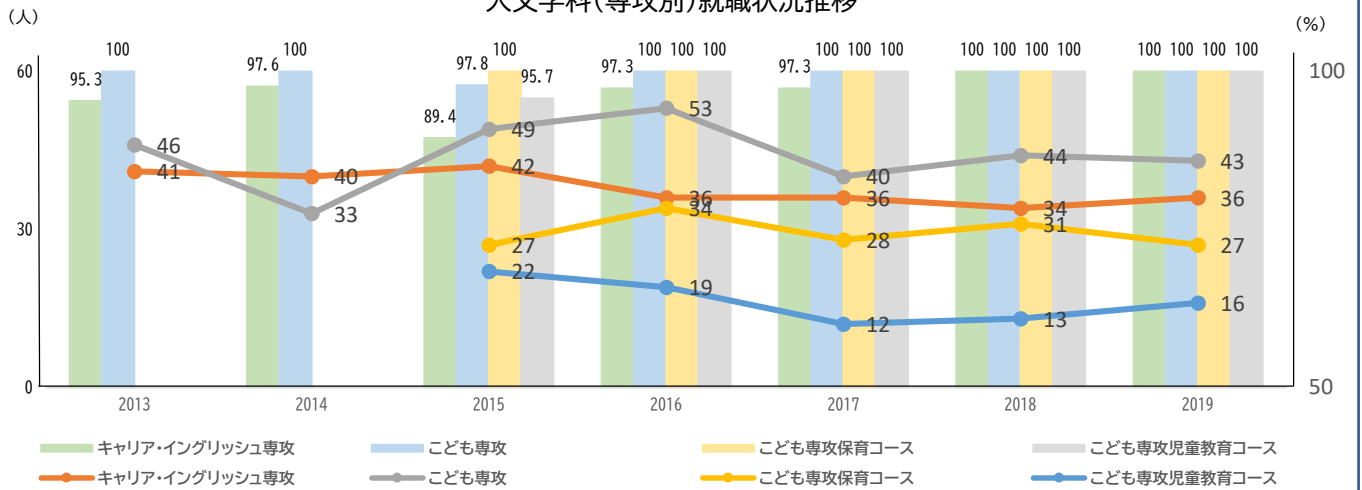
学科別就職状況の推移



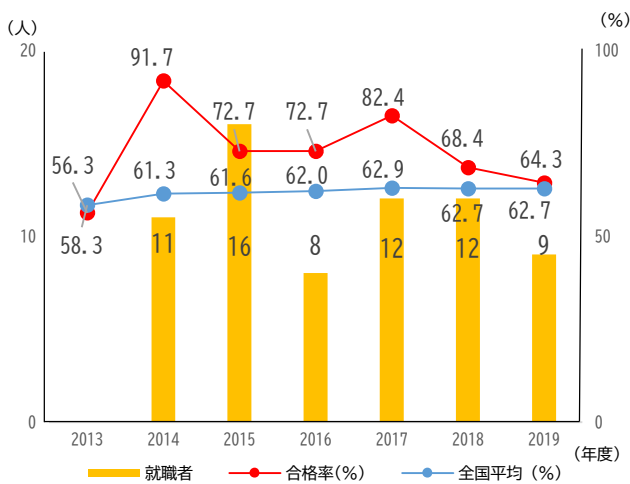
求職件数と就職決定率の推移 (斡旋不要者を除く)



人文学科(専攻別)就職状況推移

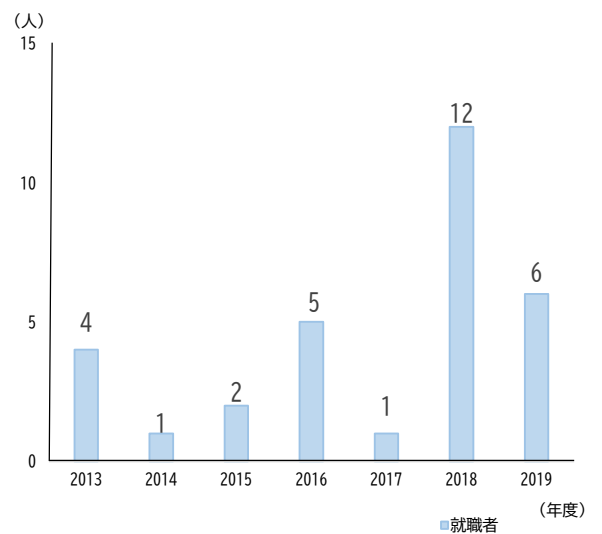


精神保健福祉士 (PSW) 合格率及び就職率



※就職率は、PSW合格者の内、福祉関係に就職した者の率
 ※2013年度は、就職データ不明の為記載しない。

キャビンアテンダント (CA) 及び グランドスタッフ (GS) 就職者数



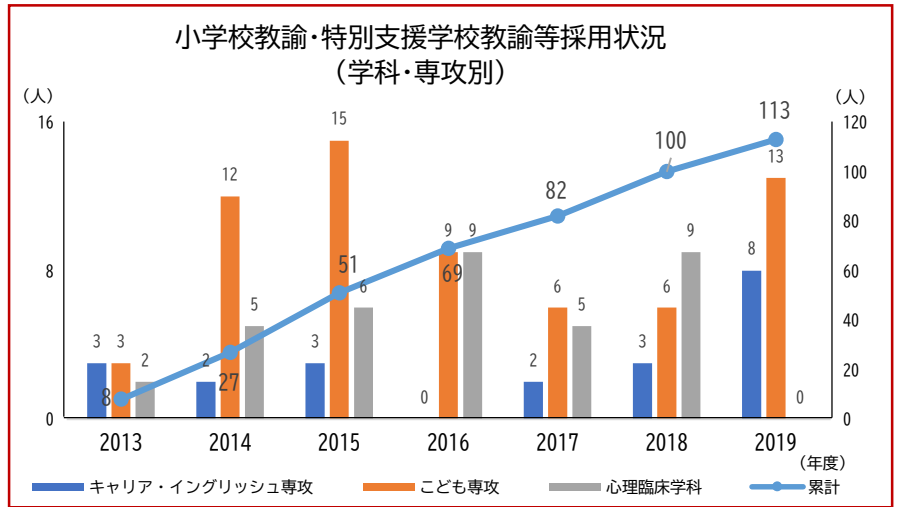
6. 就職・進路支援

(1) 教職・保育支援センター

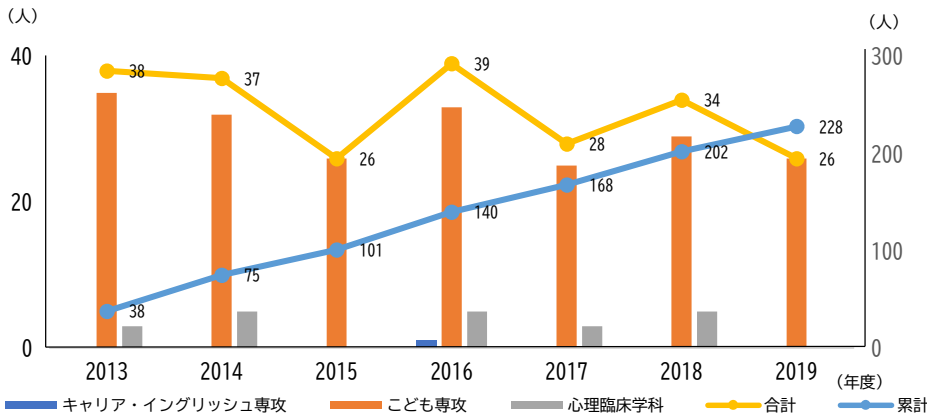
公立学校教員採用試験
「100人」以上の
正規採用実績



小学校教諭



保育士・保育教諭・幼稚園教諭採用状況
(学科・専攻別)

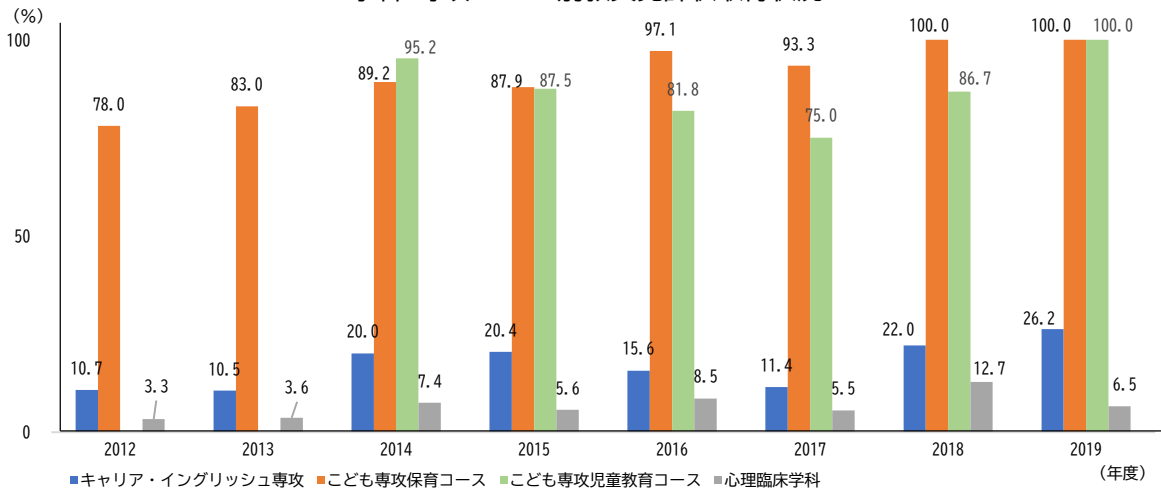


保育士・保育教諭・幼稚園教諭
希望者100%就職



保育士

学科・専攻・コース別教員免許状取得状況



※学科・専攻・コース別の複数の教員免許状の内、1つ以上取得するした学生数をそれぞれの所属で除した数(%)
※2013年度まで、こども専攻はコース制をとっていないため保育コースに集約。

6. 就職・進路支援

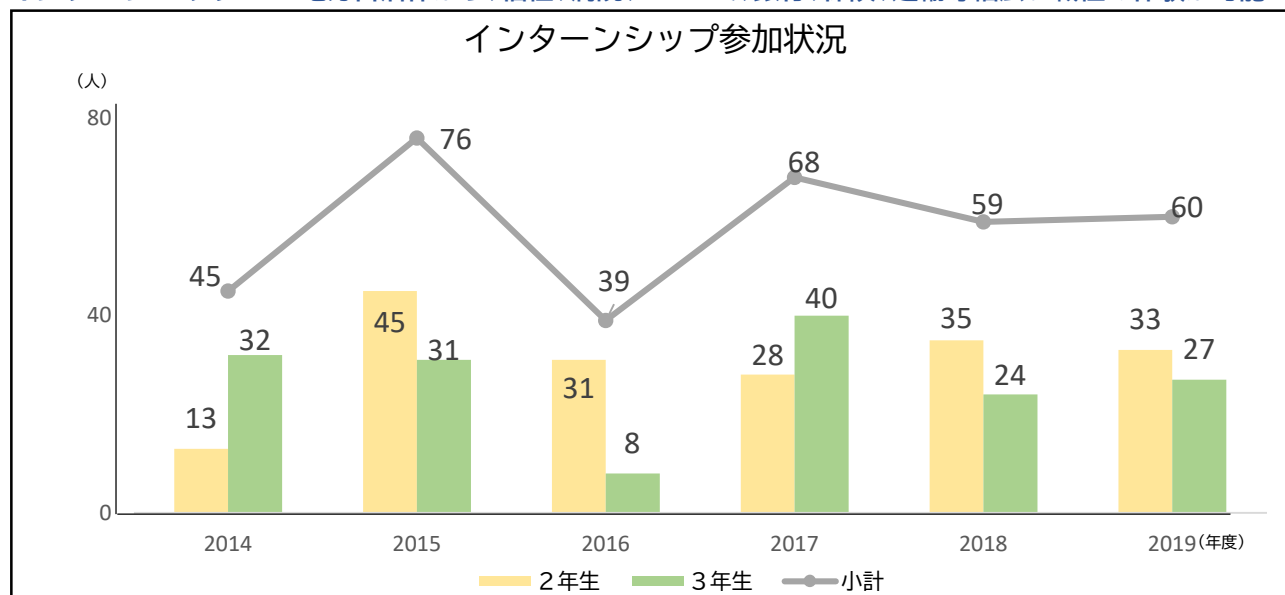
(2) 就職ガイダンス



ペプ・ラリー(就職活動kick off)(3年生)

講座開設状況(2019年度)		
講座名	回数	対象
就職対策講座	14	3年生
教員採用試験対策講座	40	3年生から4年生 受験希望者
精神保健福祉士 国家試験対策講座	22	4年生 受験希望者

インターンシップ： 地方自治体から、福祉、病院、マスコミ、銀行、保険、運輸等幅広い職種の体験が可能



(3) 資格取得等の状況(2019年度)

資格名	受験者数	合格者	率(%)	備考
TOEIC(730点以上)	257	16	—	参考:英検準1級と同等
保育英語検定	29	13	0.45	
Word文書処理技能認定	125	110(5)	88.0	()は、1級合格者
Excel表計算処理技能検定	16	14(0)	87.5	()は、1級合格者
サービス接客検定	44	33	75.0	全国平均 73.9%
ビジネス電話検定	17	17	100	全国平均 89.0%
秘書検定	33	23	70.0	全国平均 58.8%
精神保健福祉士	17	9	64.2	全国平均 62.7%

7. 教育

共通教育	特色	
	キリスト教教育	・キリスト教主義学校独自の必修科目 ・日々の礼拝や記念礼拝への参加
	異文化体験(短期海外留学)	・海外提携校への短期留学プログラム
	統計学	・熊本大学と連携したデータサイエンス教育科目
	秘書学	・秘書検定、ビジネス電話実務検定に直結する学修が可能 (ビジネス電話実務検定 文部科学大臣賞受賞 平成27年度、令和元年度)
	職場体験(インターンシップ)	・熊本県内外の企業と提携した職場体験学修(インターンシップ)
	ボランティア活動	・ボランティア体験学修

人文学科	専攻	キャリア・イングリッシュ	こども	
	コース	—	保育コース	児童教育コース
特色	・英語習熟度別クラス編成 ・異文化体験学修(短期海外留学)(希望者)		・特別支援教育に対応できる保育士、幼稚園教諭、保育教諭の養成	・特別支援教育に対応できる小学校教諭の養成
免許・資格	・中学・高等学校(英語)教諭一種免許状		・保育士 ・幼稚園教諭一種免許状	・小学校教諭一種免許状
条件付で取得可能な免許・資格	・小学校英語指導者資格(J-SHINE)			
主な就職先	・商社貿易系企業 ・国際交流機関・団体 ・航空業界 ・キャビンアテンダント ・グランドスタッフ ・小学校、英会話教室		・保育園 ・幼稚園 ・こども園 ・熊本市等の地方自治体	・小学校 ・特別支援学校 ・中学校・高等学校 ・熊本市等の地方自治体
主な進学先	・熊本大学大学院 等			・熊本大学大学院 等

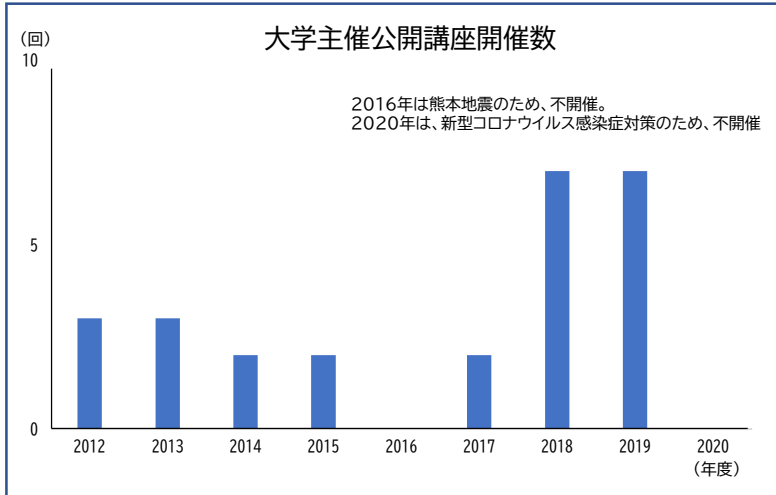
心理臨床学	特色	公認心理師等心理職養成	特別支援学校教諭養成	精神保健福祉士・スクールソーシャルワーカー養成	
	免許・資格	・認定心理士 ・高等学校(公民)教諭一種免許状 ・特別支援学校教諭一種免許状(知的障害、肢体不自由、病弱者)			
	条件付で取得可能な免許・資格	・精神保健福祉士(PSW) ・スクールソーシャルワーカー			
	主な就職先	・医療機関	・小学校 ・特別支援学校	・医療機関 ・福祉事業所	
	主な進学先	・熊本大学大学院 ・久留米大学大学院 ・福岡女学院大学大学院 ・鹿児島純心女子大学大学院 ・九州ルーテル学院大学大学院 等			

人文学研究科	専攻	障害心理学(修士課程)	
		発達障害学領域	心理臨床学領域
	特色	多様な授業形態 昼夜開講制とし、さらに土曜日や休日の開講、夏期・冬期休業期間における集中講義	
免許・資格	特別支援学校専修免許状		

8. 地域貢献

(1) 公開講座実施状況

①大学主催



サンタの国フィンランド クリスマスの話とリース作成
(2019年度実施)

2020年度 公開講座一覧

講座名	回数	受講者数 (延べ人数)
「Let's play in English」	1	新型コロナウイルス 感染症対策のため 中止
親子サイエンス大実験カレッジ	6	
親子プログラミング大製作カレッジ	3	
秋の夜長の文学講話「芥川龍之介の作品を読む」	3	
サンタの国フィンランド クリスマスの話とリース製作	2	
障がいのある学生の修学支援に関する講演会	1	
学内樹木探訪	1	
「アフリカ少年が日本で育った結果」	1	

2019年度 公開講座一覧

講座名	回数	受講者数 (延べ人数)
保育者が元気になるためのコーチングスキル —モチベーションの維持と良好な人間関係をめざして—	2	25
Let's play in English	1	20
親子サイエンス大実験カレッジ	5	120
障がいのある学生の修学支援に関する講演会 —合理的配慮について考える—	1	91
夏目漱石「こころ」を読む	3	20
新しい心理の資格『公認心理師』について	1	10
サンタの国フィンランド クリスマスの話とリース製作	2	34

8. 地域貢献

(1) 公開講座実施状況

② 外部機関での公開講座



「地域の家族見守りサポーター養成講座 2020年度実施

2020年度 外部機関での公開講座

講座名	主催	受講者数
「世界一幸福な国」に3年連続で選ばれたフィンランドってどんな国？	大学コンソーシアム熊本 くまもと県民カレッジリレー講座 「キャンパスパレア」	対面及びオンライン
地域の家族見守り サポーター養成講座	合志市 女性・こども支援課	27
わくわく理科実験	熊本県生涯学習推進センター	熊本障害学習推進センター チャンネルにて配信

2019年度 外部機関での公開講座

講座名	主催	受講者数
「大人でも楽しい科学実験講座」	大学コンソーシアム熊本 くまもと県民カレッジリレー講座 「キャンパスパレア」	26
地域の家族見守り サポーター養成講座	合志市 女性・こども支援課	20



「世界一幸福な国」に3年連続で選ばれたフィンランドってどんな国？
(2020年度実施)



「大人でも楽しい科学実験講座」2019年度実施

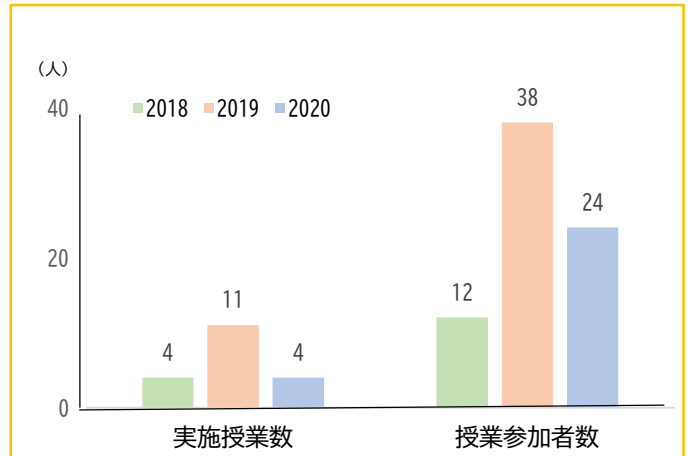
8. 地域貢献

(2) 高大接続・連携

大学キャンパスVisit&Try

高校生が、「大学での学びやサークル活動」に触れ、知的好奇心の喚起や大学教育への円滑な接続の機会にするとともに、進路選択の一助とする。

(2018年度からルーテル学院高等学校と実施)



2020年度 実施状況

授業名	目標	受入人数	参加人数
環境学	地球46億年の歴史と環境の関連を学修する。	10	2
Advanced English Communication	自分のホームタウンについて英語で発表する。	6	7
心理学実験	心理的な現象とその仕組みを実験や適切なデータ分析手法であきらかにし、論理的に文章を構成し報告する。	10	12
心理実習Ⅱ	実習に必要な準備、記録等の作成方法、実習先を理解するための情報収集などの実習前の学修を行います。公認心理師養成カリキュラムで必須になる心理実習科目です。	5~6	3



授業風景(環境学)



授業風景
(Advanced English Communication)



授業風景(心理実習Ⅱ)



授業風景(心理学実験)

8. 地域貢献

(3) ボランティア活動

活動実績		
活動団体等	活動内容等	活動場所等
ダウン症支援部	ダウン症の方との療育活動と余暇活動	毎週土曜日 熊本県身体障がい者福祉センター 2020年度 YouTube動画配信
自閉症支援部	自閉症児の子どもたちへの療育活動	本学内 2020年度 YouTube動画配信
子育て支援部 「くれよん」	小学部と幼稚部に分かれ子育て支援活動を実施	土日を中心 リクエストがあれば県内どこでも
金曜教室 「発達障がいのある児童生徒の学習支援活動」 心とそだちの臨床研究所(ジャニス)	LD、ADHD、高機能自閉症などの発達障がいのある小・中・高校生を対象として、本学学生・大学院生等による学習支援活動と、教員と外部の専門家による保護者支援の実施	毎週金曜日18:30-20:20 本学4号館、2号館
ルーテルかよう会	「ささえりあ浄行寺」と合同で介護予防教室を実施	毎週火曜日 本学ボランティアセンター
熊本支援の会	路上生活者へのおにぎり配り	12月
災害ボランティア	災害ボランティア(令和2年7月豪雨)	7月から11月



自閉症支援部 クリスマス会
(熊本県自閉症スペクトラム協会主催)



ルーテルかよう会 体力測定
熊本市(九州ルーテル学院)



ダウン症支援部療育キャンプ
(阿蘇市)



おにぎり配り
熊本支援の会(熊本市)

令和2年豪雨災害ボランティア実績

月日	ボランティア先	ボランティア内容	人数
7月22日	八代ボランティアセンター	ボランティアセンター運営支援	5人
7月27日	八代ボランティアセンター	ボランティアセンター運営支援	6人
9月4日	旧多良木高校避難所	避難所運営支援	9人
10月3日	旧多良木高校避難所	避難所運営支援	4人
10月10日	球磨村福祉避難所せせらぎ	福祉避難所入所者との交流	4人
10月17日	旧多良木高校避難所	避難所運営支援	6人
10月24日	救友の会(人吉・球磨村)	浸水家屋清掃、災害ぼみ分別	6人
10月31日	旧多良木高校避難所	避難所運営支援	11人



災害ボランティア 令和2年7月豪雨災害(熊本県)

8. 地域貢献

(4) 包括連携協定

① 地方自治体との包括連携等

自治体名	主な活動内容	締結日
菊陽町	・小学校外国語活動学生ボランティア派遣	2010年6月
合志市	・ソーシャルワーカー派遣 ・地域の家族活動見守サポーター養成講座(昼・夜)	2014年11月
和水町	・こどもフェスティバルin和水 ・イングリッシュキャンプin和水 ・なごみ物産展inルーテル	2016年 4月
菊池市	・「こころの問診票」の実施(菊池市内小中学校) ・菊池市不登校対策研修会講話	2019年3月

② 学校との包括連携等

学校名	主な活動内容	締結日
熊本大学	・数学・統計学・データサイエンス教育の連携 ・学修効果に関する情報共有	2019年12月
ルーテル学院大学	・研究プログラムの共同構築	2019年 1月
熊本県立ひのくに高等支援学校	・園芸活動 ・交流会	2018年 7月

(5) 自治体等への協力(一部抜粋)

内容	委嘱団体等	協力者
熊本市男女共同参画センターはあもにい運営審議委員	熊本市男女共同参画センター	広渡 純子
教育振興基本計画推進委員	熊本県教育委員会	河田 将一
就学支援委員		
特別支援教育専門家チーム委員		
常任理事 兼被災地支援委員長	(一社)日本LD学会	岩永 靖
熊本県いじめ問題対策連絡協議会委員	熊本県教育委員会	
スーパーバイザー		
熊本県いじめ問題対策連絡協議会委員	宇土市教育委員会	
スクールソーシャルワーカー		
宇土市いじめ問題対策連絡協議会委員	合志市	
女性・子ども支援室協議会会長		
日本学校ソーシャルワーク学会理事	日本学校ソーシャルワーク学会	
熊本県精神保健福祉士協会副会長	熊本県精神保健福祉士協会	
公益社団法人 日本精神保健福祉士協会理事	(公社)日本精神保健福祉士協会	
公益財団法人熊本県学校保健会理事	(公財)熊本県学校保健会	
いじめ防止等対策委員会委員長	宇土市教育委員会	緒方 宏明
不登校対策協議会委員	菊池市教育委員会	
スクールカウンセラー	熊本県教育庁(菊陽南中学校)	
審査部会委員	熊本市保育幼稚園課	
日本学校心理士会熊本支部支部長	日本学校心理士会熊本支部	
男女共同参画推進委員会委員長	大学コンソーシアム熊本	香崎 智郁代
熊本市精神保健福祉審議会委員	熊本市精神保健福祉審議会	古賀 香代子
熊本県いじめ調査委員会委員	熊本県いじめ調査委員会	
障害者総合支援審査会委員	有明広域行政事務組合	
NPO法人くまもと支援の会理事	NPO法人くまもと支援の会	西 章男
社会福祉法人やまびこ福祉会理事	(社福)やまびこ福祉会	
熊本県ハンセン病問題相談支援センター相談員	熊本県ハンセン病問題相談支援センター	
一般社団法人熊本県社会福祉士会災害支援活動協力員	(一社)熊本県社会福祉士会	
熊本県邦楽協会副会長	熊本県邦楽協会	山内 隆雄
美術館専門委員会委員	芦北町立星野富弘美術館	犬童 昭久
客員論説解説委員	熊本日日新聞社	春木 進

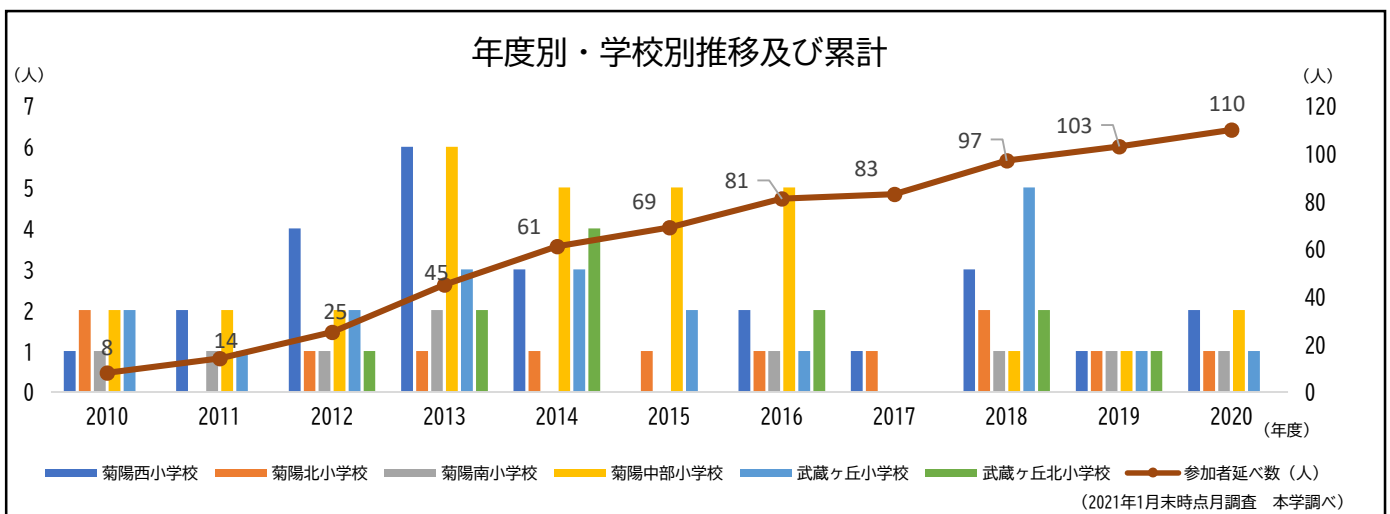
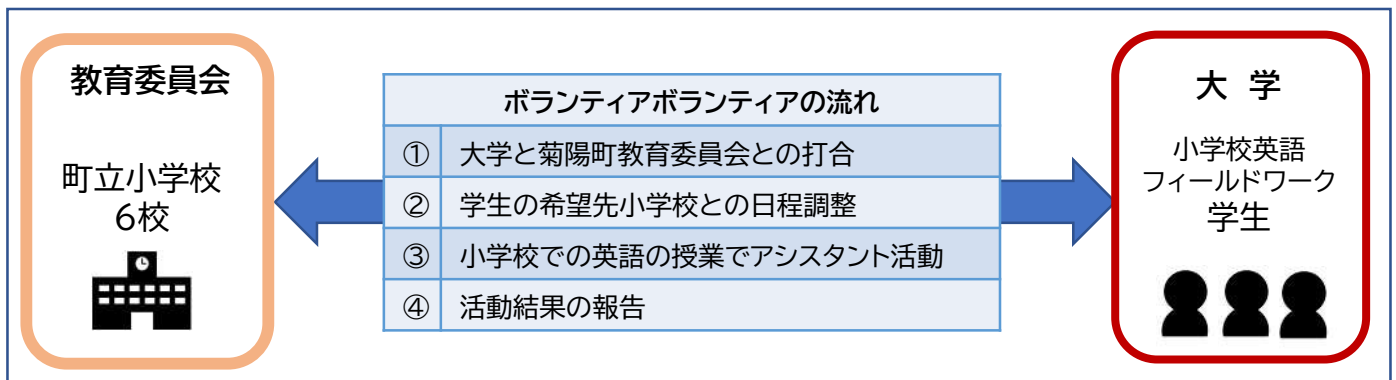
8. 地域貢献

(4) 包括連携協定 主な活動

① 小学校外国語活動学生ボランティア派遣 (菊陽町教育委員会との連携活動)

「菊陽町教育委員会と九州ルーテル学院大学との連携協力に関する協定書」に基づき、人文学部キャリア・イングリッシュ専攻の小学校英語フィールドワークⅠ、Ⅱを受講している学生が、各小学校と直接打ち合わせ等を行い、外国語の授業時に担当教諭の補助として、教室内で児童と一緒に活動します。

この活動は、小学校外国語教育のアシスタントだけでなく、教育実習以外で、教育現場を体験する貴重な時間となっています。



2020年度 小学校英語ボランティア 参加状況

小学校(校)	参加者(人)
菊陽西小学校	2
菊陽北小学校	1
菊陽南小学校	1
菊陽中部小学校	2
武蔵ヶ丘小学校	1
武蔵ヶ丘北小学校	0
合計	7



活動状況①



活動状況②

8. 地域貢献

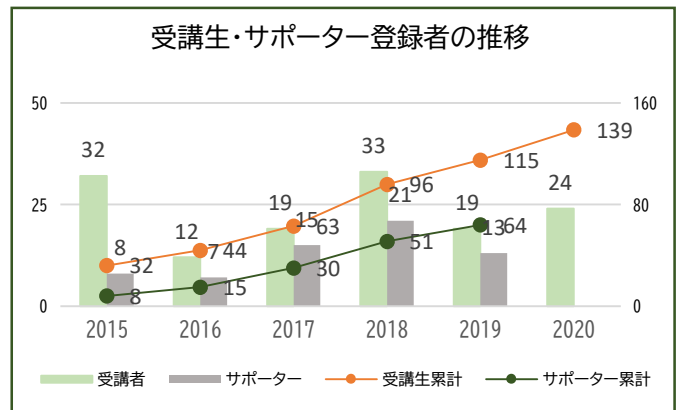
(4) 包括連携協定

主な活動

②地域の家族見守りサポーター養成講座 (合志市福祉部女性・子ども支援課との連携活動)

「地域社会発展のための包括的連携に関する基本協定書」に基づき、2015年から合志市女性・子ども支援課主催の「地域の家族見守りサポーター養成講座」に、企画から講師派遣までを行っています。講座終了後に、受講者アンケートを実施し、その結果を毎年3回開かれる合志市福祉協議会の中で、活動状況と共に報告し、次年度の活動方針を協議しています。また、2018年度からは、登録サポーターを対象とした「フォローアップ研修」(2回)を実施しており、現場のサポーターの情報交換の場を設けています。この養成講座の受講後、サポーターの方々への幅広い活動支援が今後の課題となっています。

年間の流れ	
①	協議会で活動計画を決定
②	女性・子ども支援課と本学と講座内等の調整
③	合志市広報誌、ホームページ等を通し受講案内
④	養成講座(5回)・フォローアップ講座(2回)実施
⑤	受講終了後アンケート実施・結果を分析
⑥	協議会にて活動報告を実施



2020年度 地域の家族見守りサポーター養成講座 実施実績

1	子どもを取り巻く現状	永野典詞教授 春木進教授	10月21日	水	10:00~12:00	19:00~21:00
2	子どもの貧困ワーク	岩永靖准教授	10月28日	水	10:00~12:00	19:00~21:00
3	子どもの発達	香崎智郁代准教授	11月4日	水	10:00~12:00	19:00~21:00
4	児童虐待と家族問題	古賀香代子教授	11月17日	火	10:00~12:00	19:00~21:00
5	児童虐待が及ぼす影響	岩永靖准教授	11月25日	水	10:00~12:00	19:00~21:00



受講生募集案内(合志市)



地域の家族見守りサポーター養成講座(昼)



地域の家族見守りサポーター養成講座(夜)

8. 地域貢献

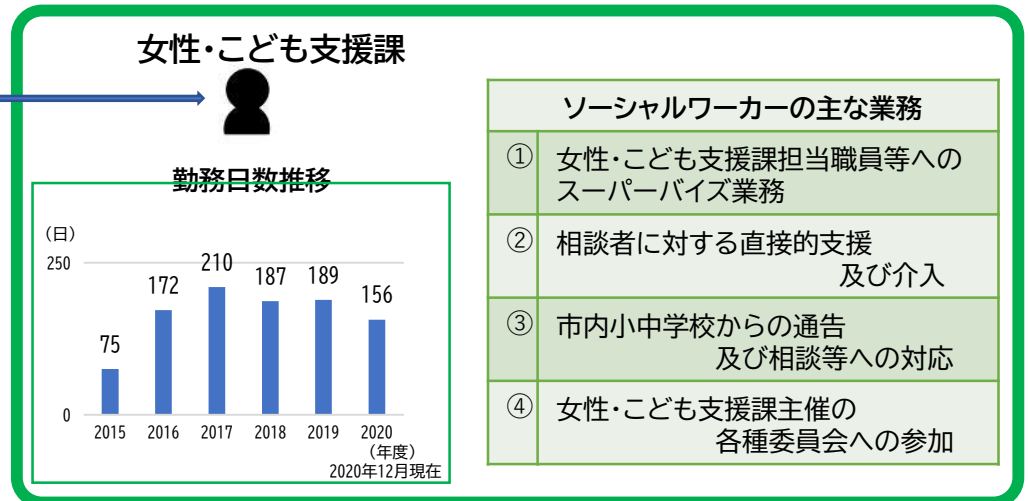
(4) 包括連携協定

主な活動

③ ソーシャルワーカー(SW)派遣事業

(合志市福祉部女性・こども支援課との連携活動)

「地域社会発展のための包括的連携に関する基本協定書」に基づき、平成27年から合志市女性・子ども支援課に、ソーシャルワーカーとして、精神保健福祉士の資格持つ、職員を派遣しています。当初、週2日の派遣で、始まりましたが、現在は、週4日(月16日前後)に増加しています。



④ イングリッシュキャンプ・こどもフェスティバルin 和水町

(和水町との連携活動)

「九州ルーテル学院と和水町との連携に関する協定書」に基づき、2016年度から、大学独自の連携活動活動として、小学校1年生から6年生を対象とした「イングリッシュキャンプin和水町」、2017年度からは「こどもフェスタin和水」加えてを開催しています。

「イングリッシュキャンプin和水町」は、

キャリア・イングリッシュ専攻の学生が、小学校1年生から6年生を対象として、小学校フィールドワーク現場実践として活動します。

「こどもフェスティバルin和水町」は、

こども専攻保育コースの学生が、幼児とその保護者を対象に、オペレッタ公演(児童劇等)を行います。

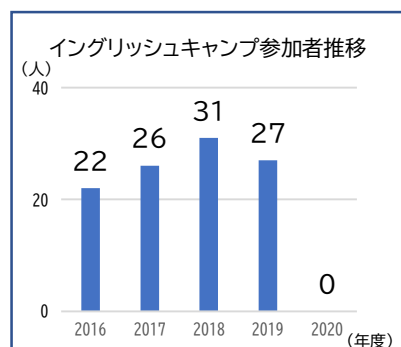
和水町からは、九州ルーテル学院大学ホームカミングディ(毎年11月3日)に地場産物の販売を出店していただいています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。

2021年度からは、再度実施する予定です。



イングリッシュキャンプ



こどもフェスティバル

8. 地域貢献

(4) 包括連携協定

主な活動

⑤ 学校現場で苦戦する子どもたち、その保護者、教師に対して適切な対応を行うための教育支援事業

(菊池市教育委員会との連携活動)

「菊池市と九州ルーテル学院大学との地域社会発展のための包括的連携に関する協定書」に基づき、平成31年から、菊池市教育委員会を主体として、「こころの問診票アンケート」を、菊池市全小中学校を対象として、年2回実施しています。このアンケートは、学校現場でのいじめ等の早期発見の1つの手段として用いられています。本学はこのアンケートの集計と分析を行っており、年3回行われる菊池市不登校対策研修会でアンケートについての説明や現場の先生方からの相談に対応しています。2021年度からは、紙媒体アンケートから、タブレットを使用した情報端末で実施するアンケートへの移行を検討しています。

年間の流れ	
5月	菊池市不登校協議会にて、「こころの問診票アンケート」の研修会
5月～7月	菊池市内35校の小中学校を対象として第1回目「こころの問診票アンケート」実施
7月～8月	アンケートの集計、分析
9月	菊池市不登校協議会にて、「こころの問診票アンケート」の研修会
9月～10月	菊池市内35校の小中学校を対象として第2回目「こころの問診票アンケート」実施
11月	アンケートの集計、分析
1月	菊池市不登校協議会にて、「こころの問診票アンケート」の研修会

	2019年度	2020年度
不登校対策協議会研修会 参加者数	延べ105人 35人×3回	延べ105人 35人×3回
こころの問診票アンケート実施 小・中学校数	小学校10校 中学校5校	小学校10校 中学校5校
こころの問診票アンケート対象 児童・生徒数	約3500人 (小学校3年～中学校3年まで)	約3500人 (小学校3年～中学校3年まで)



第1回不登校協議会研修会(2020年度実施)

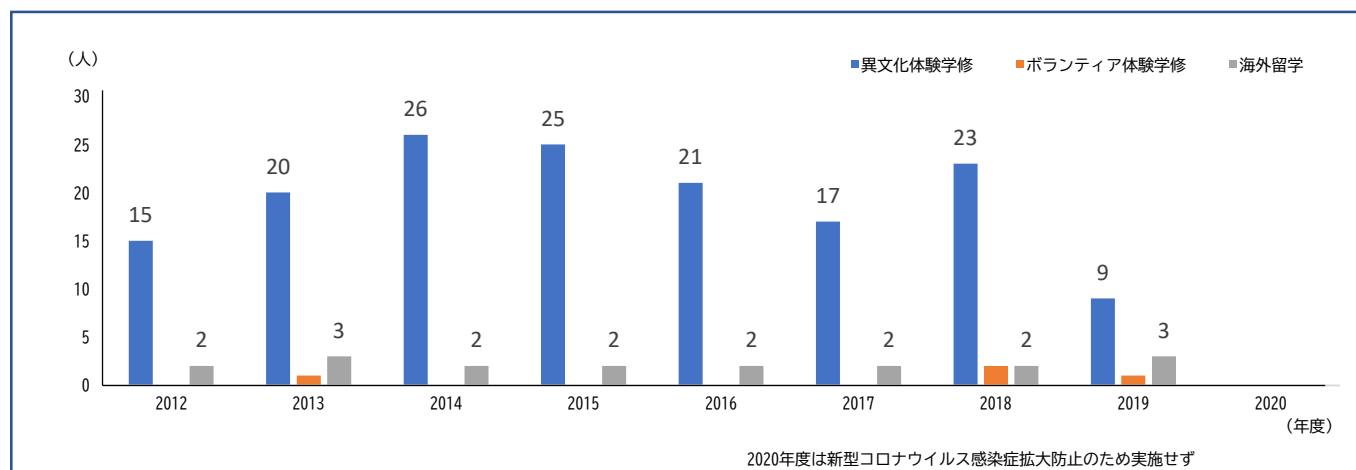


第2回不登校協議会研修会(2019年度実施)

9. 国際交流

異文化体験・海外留学制度

(1) 異文化体験・海外留学者数



(2) 奨学金制度

制度名	内容	対象	返済義務
ムラサキスポーツ奨学金制度	バートン&サウスダービシャーカレッジへの留学希望者	2名/年	なし
海外留学奨学金制度	異文化体験学修プログラム参加者のうち語学研修者のみ	10万円 最大5名/年	なし
海外体験学修奨学金制度	異文化圏での体験を通じて英語を学習する者	最大20万円 10名/年程度	なし

(3) 異文化体験学修 一覧

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず

	大学名	国	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1	Induk University(インドク大学)	韓国				1	2				
2	平澤大学(ピョンテク大学)	韓国		1							
3	Holden Village(ホールデン・ヴィレッジ)	アメリカ	10								
4	Grunewald Guild(グリーンウォルド ギルド)	アメリカ		10	7	2	4	3	1		
5	アシスタントティーチャーインターンプログラム	アメリカ		3	3	1	2	5	4	2	
6	Sunway University(サンウェイ大学)	マレーシア	3	4		5		1	3	4	
7	Flinders University(フリンダース大学)	オーストラリア	2	2	4	11	12	5	6		
8	Curtin University(カーティン大学)	オーストラリア						3	5	3	
9	Bourn ville College(ボーンビル大学)	イギリス			12						
10	Burton & South Derbyshire College (バートン&サウス ダービシャーカレッジ)	イギリス				5	1		4		
	合計		15	20	26	25	20	17	23	9	0

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず

9. 国際交流

異文化体験・海外留学制度

(4) ボランティア学修参加者 一覧

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず

	機関名	国	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1	India(日本福音ルーテル社団)	インド							2		
2	Cambodia(日本福音ルーテル社団)	カンボジア		1						1	
	合計			1					2	1	0

(5) 海外留学参加者 一覧

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず

	大学名	国	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
1	Sunway University(サンウェイ大学)	マレーシア			1						
2	Induk University(インドク大学)	韓国	1	2						1	
3	Burton & South Derbyshire College (バートン&サウス ダービシャーカレッジ)	イギリス				2※	2※	2※	2※	2※	
4	Flinders University(フリンダース大学)	オーストラリア	1※	1※	1※						
	合計		2	3	2	2	2	2	2	3	0

(6) 異文化体験発表会

※ムラサキスポーツ奨学生制度利用

プログラムに参加したい希望者等に、異文化体験学修、ボランティア体験学修、海外留学に参加した学生が、体験談を発表します。



2019年度異文化体験学修・ボランティア体験学修・海外留学参加者

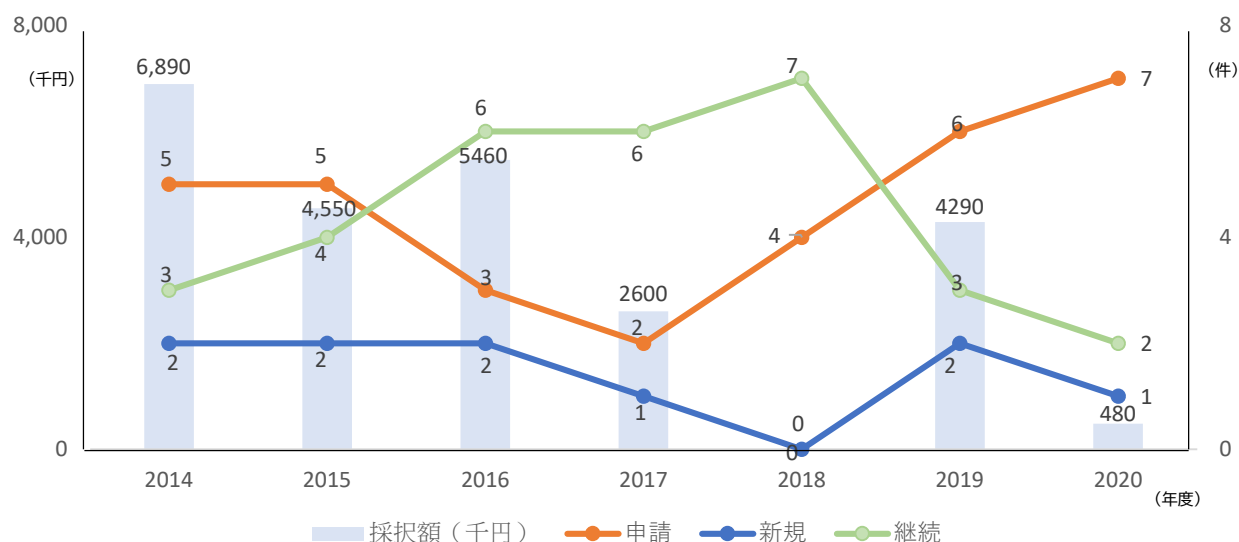


2019年度 異文化体験学修参加者体験発表会

10. 研究

(1) 研究助成金等

① 科学研究費補助金採択状況



② 2020年度科学研究費補助金採択事業(継続・分担者含)

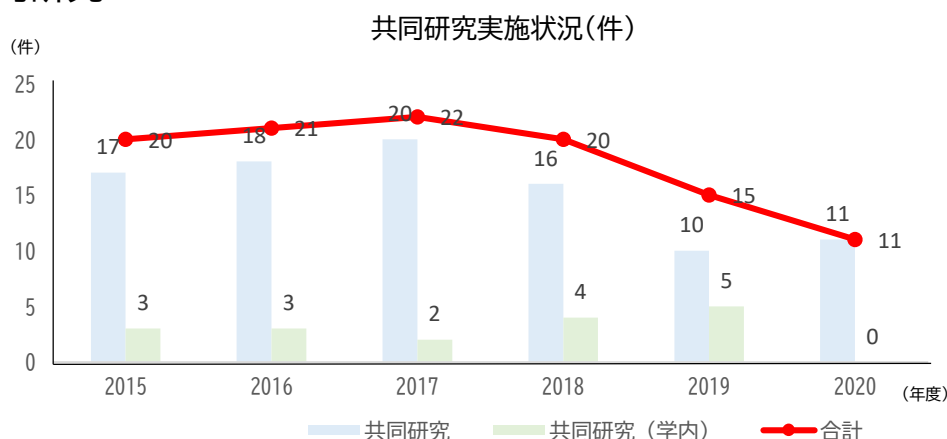
氏名	事業名	期間	研究費区分
有村達之	慢性疼痛に対するマインドフルネストレーニングの有効性検証	2019-2021	基盤C
岩永靖	子どもの課題スクリーニングからの支援・効果まで循環するシステム	2019-2024 (分担者)	基盤A
和田由美子	幼児におけるネガティブでない泣きの表出と理解の発達	2017-2019 (継続中)	基盤C
増本利信	読み書き困難児の特異な眼球運動の実態と、眼球運動トレーニングが及ぼす効果研究	2020	奨励研究

③ 研究助成

年度	事業名	機関	氏名
2019	「多文化保育とその研修に関する実態研究 —保育者の困り感に注目して」	保育士養成協議会	三井 真紀 (共同研究者)
2019	「保育所を中心とした子育て支援ネットワーク形成に関する研究」	日本保育ソーシャルワーカー 学会	香崎 智郁代

10. 研究

(2) 共同研究



2021年11月現在
※継続研究を含む

① 共同研究実績(2021年1月現在)

氏名	テーマ(概要)	共同研究者等	開始
有村 達之	慢性痛に対するマインドフルネストレーニングの有効性検証	田代雅文 (熊本大学)	2014-
岩永 靖	子どもの課題スクリーニングから支援・効果まで循環するシステム構築	山野則子 (大阪府立大学)	2019-
犬童 昭久	地域に関わる伝統・文化に関する学習の実践 - 図画工作科の授業における「鬼瓦」を取り上げた事例 -	東 奈美子 (熊本市立健軍小学校)	2019-
	E.P. トーランスの創造性テストTTCTの再考と試行	前村晃(佐賀大学名) 栗山裕至(佐賀大学) 丁子かおる(和歌山大学) 樋口和美 (福岡女子短期大学) 白石恵理(中村学園大学) 宮崎祐治(神野こども園) 王寺直子 (認定こども園 あかさかルンビニー園)	2018-
坂本 昌弥	阿蘇黄土の教育的活用法	(株)日本リモナイト	2017-
三井 真紀	多文化保育とその研修に関する実態研究	石井研究室 (大妻女子大学)	2019-
増本利信	LD-SKAIP ステップ3算数 妥当性研究	飯利知恵子他 (中山メンタルクリニック)	2020-
	LD-SKAIP ステップ3国語 妥当性研究	小笠原哲史(明星大学)	2020-
	強度行動障害児・者等の自傷行為への対応-アンケート調査を通して-	川中瑞帆(長崎大学) 徳永瑛子(長崎大学) 岩永竜一郎(長崎大学)	2020-
永野典嗣	児童養護施設の現状に関する調査-10年前の調査との比較-	九州社会福祉施設協議会連合会 児童養護施設協議会	2020-
	令和2年度スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト (地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)」 熊本県総合型地域スポーツクラブの調査研究報告	障害者スポーツコンソーシアム しょうがいスポーツリンゲイジくまもと NPO法人A-LIFE南関	2020-
	令和2年度スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト」 (地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)」 特別支援学校(含む 特別支援学級・福祉施設等事業所)の生涯スポーツ としての障害者スポーツ及びユニバーサルスポーツのニーズ調査研究 町内調査	障害者スポーツコンソーシアム しょうがいスポーツリンゲイジくまもと NPO法人A-LIFE南関	2020-
	令和2年度スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト (地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)」 障がい当事者の保護者を対象にした生涯スポーツとしての障がい者 スポーツ及びユニバーサル スポーツのニーズ調査研究町内調査	障害者スポーツコンソーシアム しょうがいスポーツリンゲイジくまもと NPO法人A-LIFE南関	2020-

10. 研究

(3) 学内競争的資金

九州ルーテル学院大学教育改革・研究奨励制度

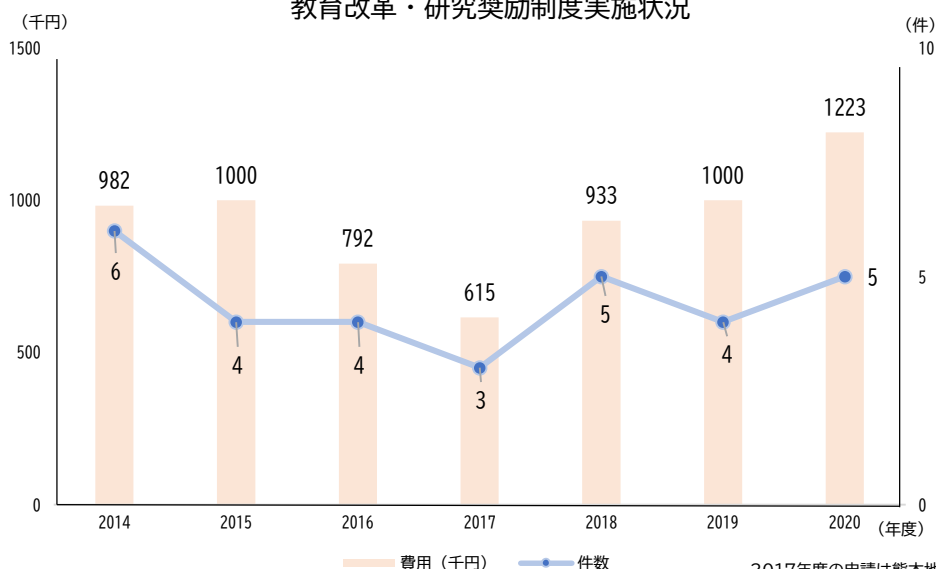
教育改革及び個人研究等を奨励するため、当該活動に要する費用を助成

研究実績(2014-2020年度)

年度	研究テーマ	研究者
2015	「The disruption of the sense of agency in schizophrenia : A neuroimaging study with NIRS.	久崎 孝浩
	「フィンランドにおける小児の睡眠・生活リズム調査の試み」	高野 美雪
	「フィンランドの多文化保育に関する実証的研究－アジア系移民の生活世界の分析」	三井 真紀
2016	小学校英語活性化のための教材作成と活用評価	島内 直英
	ヘンリー・ジェイムズ没後百年－「越境」する作家の現代的意義を探る－	砂川 典子
2017	小学校英語教材活用マニュアルの作成と実践検証	島内 直英
	子どもの主体的な活動を促す環境構成の在り方についての研究 －保育所内での子どもの行動観察を通して－	香崎 智郁代
2018	水保市内の小学校・中学校での英語力向上支援と英語力評価法の研究	島内 直英
	KLCが取り組む地域と連携した理科教育	坂本 昌弥
	短期英語語学留学プログラム別の英語力向上の効果と英語力維持のための方略	松本 充右
	熊本県における不登校支援のための情報の集約	石村 華代
2019	英語能力判定における「書く」、「話す」の評価問題と実態調査	島内 直英
	家族支援のパラダイムシフトーフィンランドで親になる。	三井 真紀
	新しい時代の多文化共生保育と課題－保育者養成校における学びの場の構築	永野 典嗣(代表研究者) 井崎 美代・金戸 清高 香崎智郁代・水町 愛 三井真紀
2020	英語運用能力評価問題と学習者の成績との関連性	島内 直英
	英語ライミングワード等を活用した小学校外国語における英語文構造の指導法	松本 充右
	保育施設におけるオンライン研修・各種会合の有効性と実効性に関する研究	永野 典嗣
	遠隔による子育て支援活動の可能性ーフィンランド移民コミュニティにおける意義と役割ー	三井 真紀
	英語能力の差異が日本語を母語とする大学生の英語精読時の眼球運動様相に与える影響	増本 利信

教育改革・研究奨励制度実施状況

注：在職者のみ記載



熊本県
不登校支援団体ガイドブック
(研究実績)

2017年度の申請は熊本地震(2016年度)の影響で減少

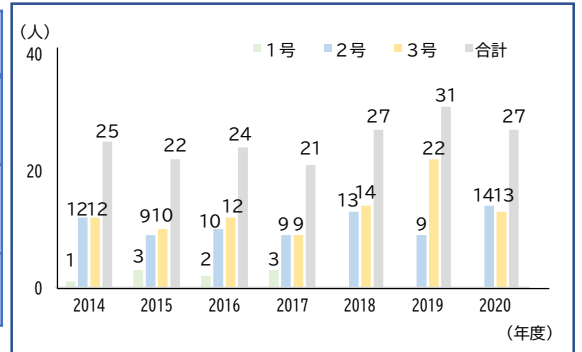
1.1. 学生生活

(1) 九州ルーテル学院大学奨学金（通称KLC奨学金）

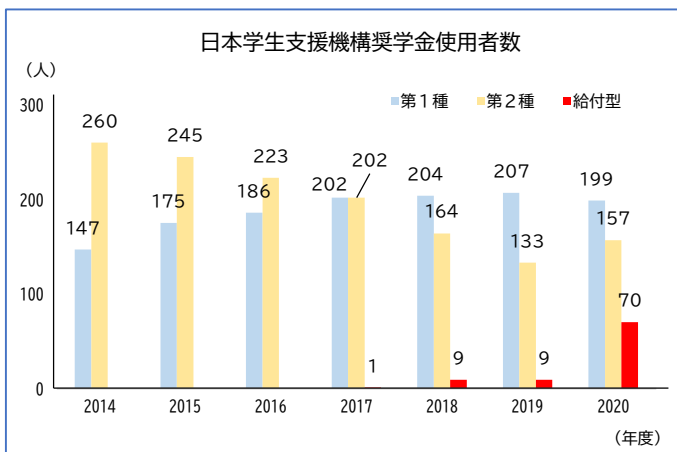
種別：給付型(返済の必要なし) 給付額：当該授業料に対する率

種別	給付額	人数	条件	実績(2019)	実績(2020)
1号	100%	2人以内	成績・品行・学生生活が特に優秀であり、かつ、他の学生の模範となり、経済的にも援助が必要とする者	0人	0人
2号	50%	各学年4名以内	成績・品行・学生生活が優れ、かつ、他の学生と友好関係を保つことができ、経済的にも援助が必要とする者	13人	14人
3号	25%	各学年4名以内	特に経済的な援助が必要な者	14人	13人

九州ルーテル学院大学奨学金給付状況

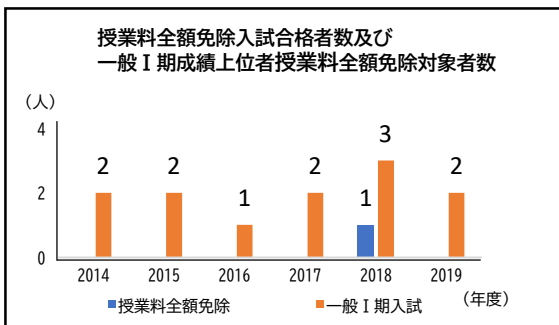


(2) 各種奨学制度利用状況



名称	利用者数(延べ人数)		
	2018年度	2019年度	2020年度
日本学生支援機構奨学金(1種)	204	207	199
日本学生支援機構奨学金(2種)	164	133	157
日本学生支援機構奨学金(給付型)	9	9	70
熊本県保育士修学資金貸付事業	10	10	4
熊本市奨学金	1	1	1
文部科学省「学びの継続」のための学生支援緊急給付金			72
民間奨学金: 壽崎育英財団	3	4	3
民間奨学金: 内村チカ育英財団	1	1	1
民間奨学金: 鶴友奨学会	2	1	
民間奨学金: キリスト教保育連盟		1	
合計	394	367	507

(3) 入試制度による奨学金



授業料全額免除入試

注：2019年実績

合格者は授業料を全額免除

(ただし、在学中の状況により取消になる場合あり)

一般I期入試成績上位者授業料全額免除制度

成績上位者若干名について授業料を全額免除

(ただし、在学中の状況により取消になる場合あり)



KLC奨学金授与式



KLC奨学金授与式

11. 学生生活

(4) 学生サポート

障がい学生サポートルーム

・障がいのある学生が、他の学生と同じように授業等に参加できるよう、学生の相談に応じ、必要な支援を行う窓口

- ・学生へのサポート業務
 - ・入学試験前の相談
 - ・入学までの支援
 - ・学生生活支援
 - ・就職支援
- ・学生サポートボランティアの育成
 - ・PCノートテイク支援 (2019年60人在籍)

- 情報保障用支援
- ・PCテイク
 - 講義中の教員等の声をパソコンにて文字化
 - ・コミュニケーション
 - 講義中の教員の声を聴きとり易くする機器
 - ・UDトーク
 - 講義中の声を機器が認識し文字で表示
 - ・映像文字起こし
 - 映像を使用する教材の音声を事前に文字に起こし、他の学生と同じように授業を受ける



プレゼンテーション賞
第15回日本聴覚障害者学生高等教育支援シンポジウム (PEPNet Japan) (2019.11.24)

SUNKuma(SupportUniversity Network Kumamoto)交流会

・熊本大学とT-TAC Caption(筑波技術大学)を利用した遠隔操作によるPCテイクの相互利用

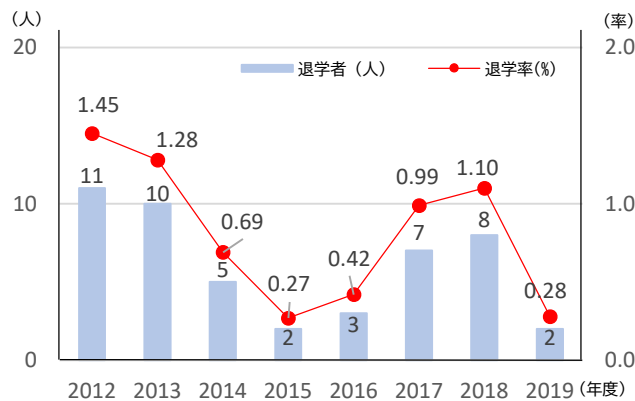


アドバイザー制 (クラス担任制)

入学時に約20名程度の学生グループを編成
原則として同じ教員が4年間アドバイザーとして卒業後の進路を視野に入れつつ、きめ細やかな指導を実施

学生支援懇談会

年2回、学生の状況を大学内で、情報共有卒業までのサポートを実施



本学退学率 0.28%

熊本県内 私立大学(文系学科) 退学率4.0~7.1%
算出方法:退学者÷(全学生+除籍者)×100(%)
(2019年度) 2021年1月 本学調べ

学内間セリング相談室

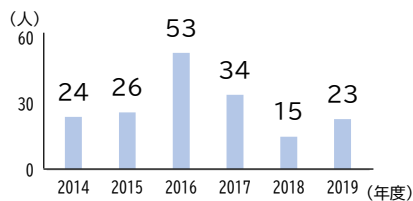
臨床心理士の資格を持つ外部カウンセラーを配置
様々な悩みの相談を受け、学生生活がスムーズに送れるようにサポート

健康相談窓口

新型コロナウイルス感染症の影響で不安や悩みを抱えている学生が一人で悩まないために2020年4月8日から学生支援課内に開設

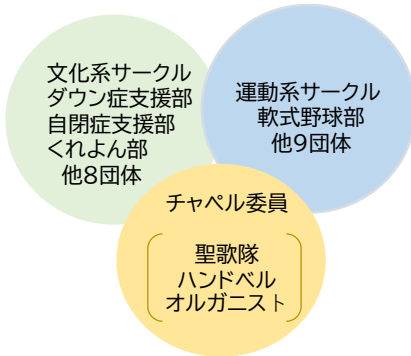
相談件数 31件 延べ80回
(2021年2月末現在)

学内カウンセリング利用件数



11. 学生生活

(5) クラブ・個人活動等



ハンドベル



聖歌隊

特色のある活動

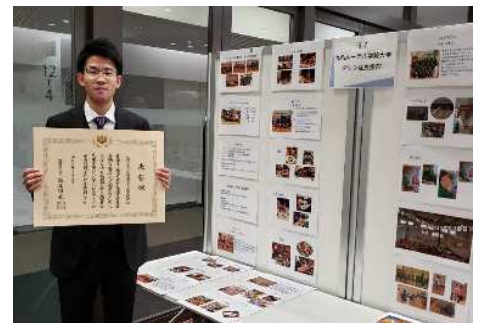
聖歌隊	礼拝堂を中心としたミニコンサート
ハンドベル	入学式・卒業式・キリスト教関連イベント

2019年度 実績

自閉症支援部	「障害者の障害学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰
--------	---------------------------



文部科学大臣表彰(自閉症支援部)



文部科学大臣表彰(ダウン症支援部)

2019年度 実績

ダウン症支援部	「障害者の障害学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰
橋本夏季(個人)	熊本県青少年育成県民会議表彰 活動内容:熊本市子ども会育成協議会のさまざまな活動・運営
障がい学生 サポートルーム	プレゼンテーション賞 第15回日本聴覚学生支援に関する実践事例コンテスト2019(PEPNet Japan)
西村 祐香(個人) キャリア・イングリッシュ専攻	第7回エリザバス・ラッセル杯英語スピーチコンテスト 優勝(活水女子大学)

11. 学生生活

(6) 学内表彰



2019年度学長賞及び学長奨励賞授賞者

学 長 賞(2012年～)

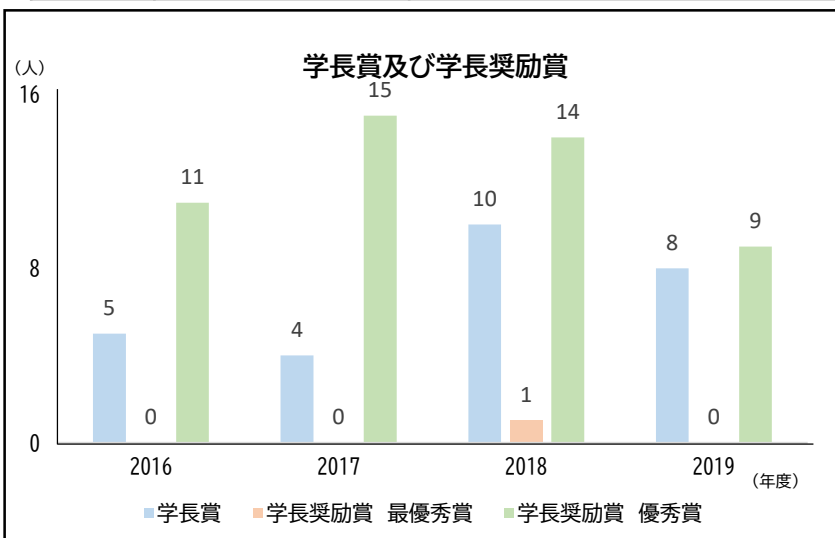
在学期間中に本人又は大学の名誉となる顕著な功績をあげた学生に対して、その功績を称える。

基準	1. 他の学生の模範となる卓越した学業成績を修めた者 2. 在学期間を通じて宗教活動に極めて熱心に取り組み、たの学生の模範となる優れた実績を残した者 3. 正課外活動又は社会的貢献活動で顕著な功績をあげた者 4. その他、学長賞にふさわしい功績をあげ、学科長から推薦された者
----	--

学長奨励賞(2016年～)

該当年度において学長奨励賞選考基準を満たす者に対してその努力を称える。

基準	項目	最優秀賞	優秀賞
	TOEIC	860点以上	700点以上
	実用英語検定試験	1級	準1級
	各種情報処理検定	—	Word、Excel共に1級合格 ITパスポート試験合格
	保育英語	1級	準1級
	その他	学長奨励賞表彰にふさわしいと認める者	



学長賞及び学長奨励書授賞式

各種データは2020年2月1日実績

12. 施設・設備

(1) チャペル (礼拝堂)



座席数 585席

県内大学では
唯一の施設



クリスマス礼拝

(2) 学生ラウンジ



2020年4月にリニューアル

(3) 学生支援センター



2020年4月にリニューアル 学生支援課と教務課を併設

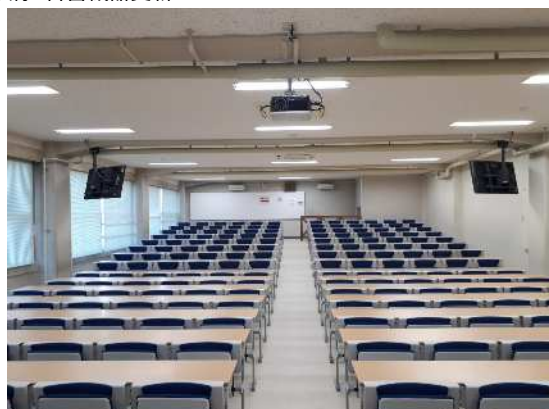
(4) 講義室



1404教室 机・椅子・映像・音響機器更新



1406教室 机・椅子・映像・音響機器更新



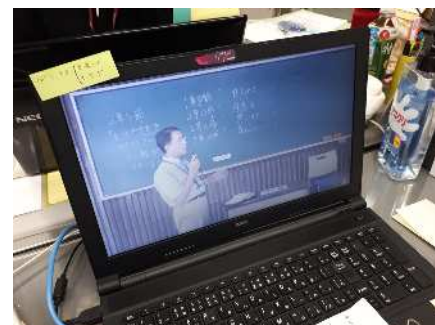
2021年3月

13. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策と学生の学修機会の確保のための取り組み

(1) 学生や授業等の取り組み

月日	対応
4月8日	健康相談窓口の設置
5月7日	遠隔授業開始
6月4日	一部対面授業開始
7月17日	一部課外活動の再開
7月28日	課外活動の停止
10月9日	一部課外活動の再開
10月14日	第23回フィリア祭(学園祭)オンライン開催決定
12月15日	課外活動の停止
12月23日	2020年度新入生歓迎式開催
1月12日	一部実技・実習等を除き遠隔授業に変更
3月10日	2021年度授業実施方針について



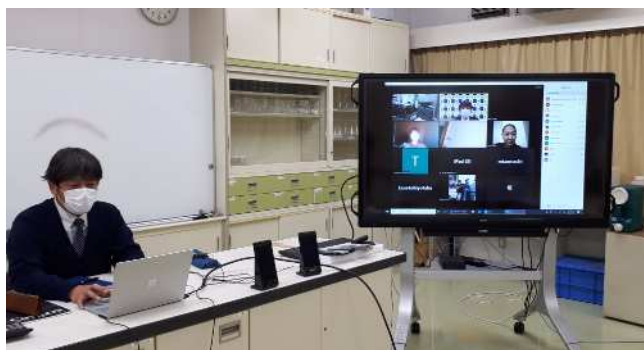
授業配信状況



遠隔授業受講状況

(2) 教職員の取組

遠隔授業と対面授業を併用し、学生の学修機会と相談環境の確保を目指した。



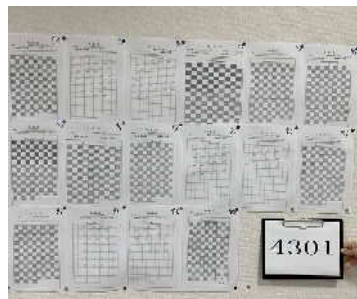
遠隔授業実施のための研修会



保健師(職員)による
体調不良者に対応するための説明会



対面授業用座席配置(4301教室 定員 人)
対面授業での座席数 人



対面授業用座席配置図
授業別指定座席表



学生へのアンケート

全ての教室は、基準に従って座席間隔を確保し、対面授業で使用する教室は、授業毎に指定座席とした。

13. 新型コロナウイルス感染症対策

(2) 施設

全ての施設で、座席数を減らし、使用後は、消毒作業を行い、感染予防対策を行っている。

施設名	対策
講義室・教室	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業で使用する教科では、指定座席表を掲示 ・遠隔授業等で学生が利用する場合は、利用できる座席を明示 ・出入口に消毒液を設置
ラーニング・コモンズ	<ul style="list-style-type: none"> ・座席数を減らし距離を確保 ・出入口に消毒液を設置
学生ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・座席数を減らし距離を確保 ・出入口に消毒液を設置 ・机上にパーテーションを設置
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・座席数を減らし距離を確保 ・出入口に消毒液を設置
学生食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・座席数を減らし距離を確保 ・出入口に消毒液を設置
教務課	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターにパーテーション設置 ・カウンター横に消毒液を設置
学生支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターにパーテーション設置 ・カウンター横に消毒液を設置



ラーニングコモンズ



学生ラウンジ



図書館



学生食堂



教務課



学生支援課



学院聖句

わたしが来たのは羊が命を受けるため、
しかも豊かに受けるためである。

(ヨハネによる福音書10章10節)

発行

九州ルーテル学院大学
〒860-8520
熊本市中央区黒髪3-12-16
TEL 096-343-1600(代表)
<http://www.klc.ac.jp/>